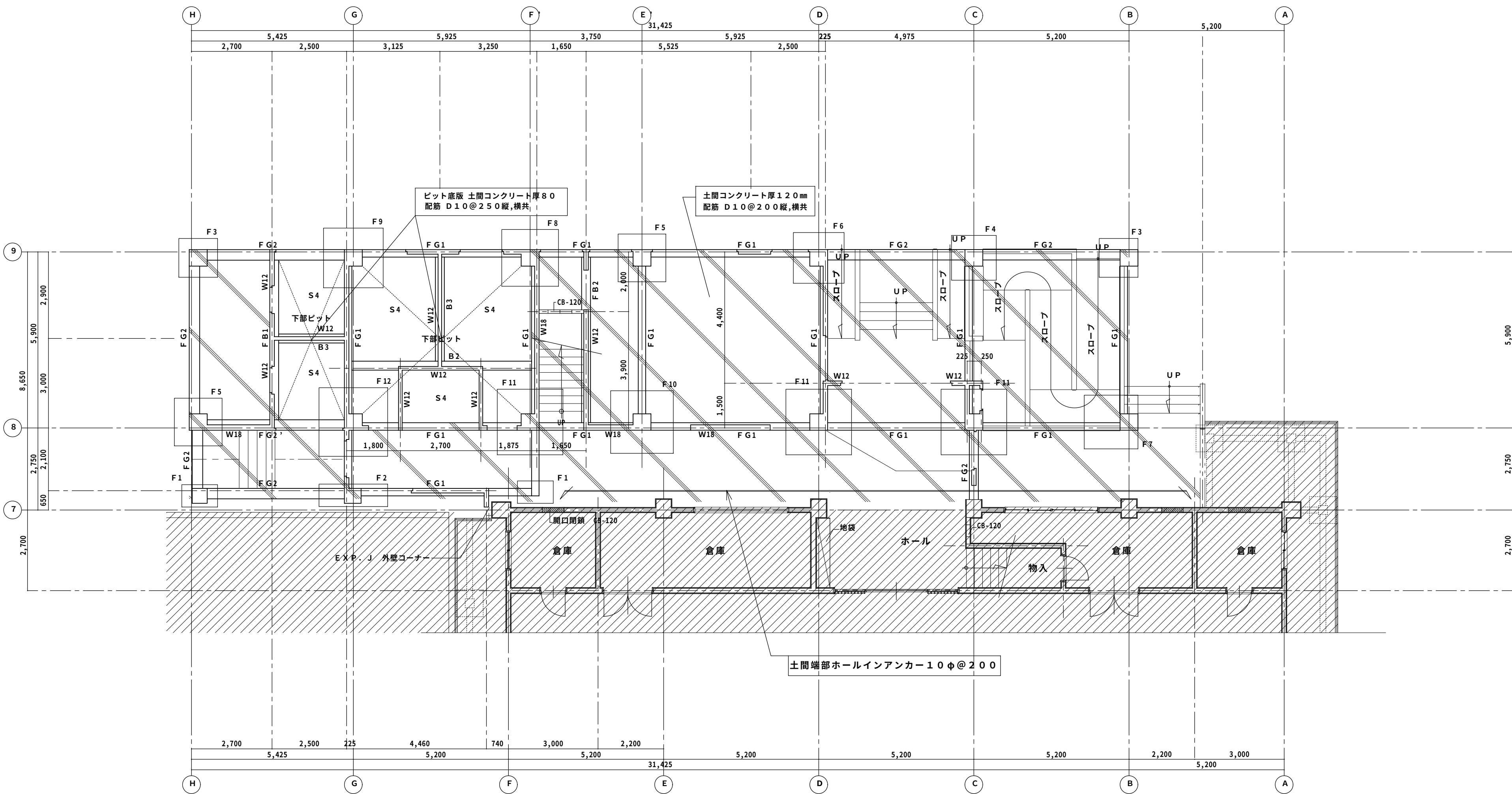


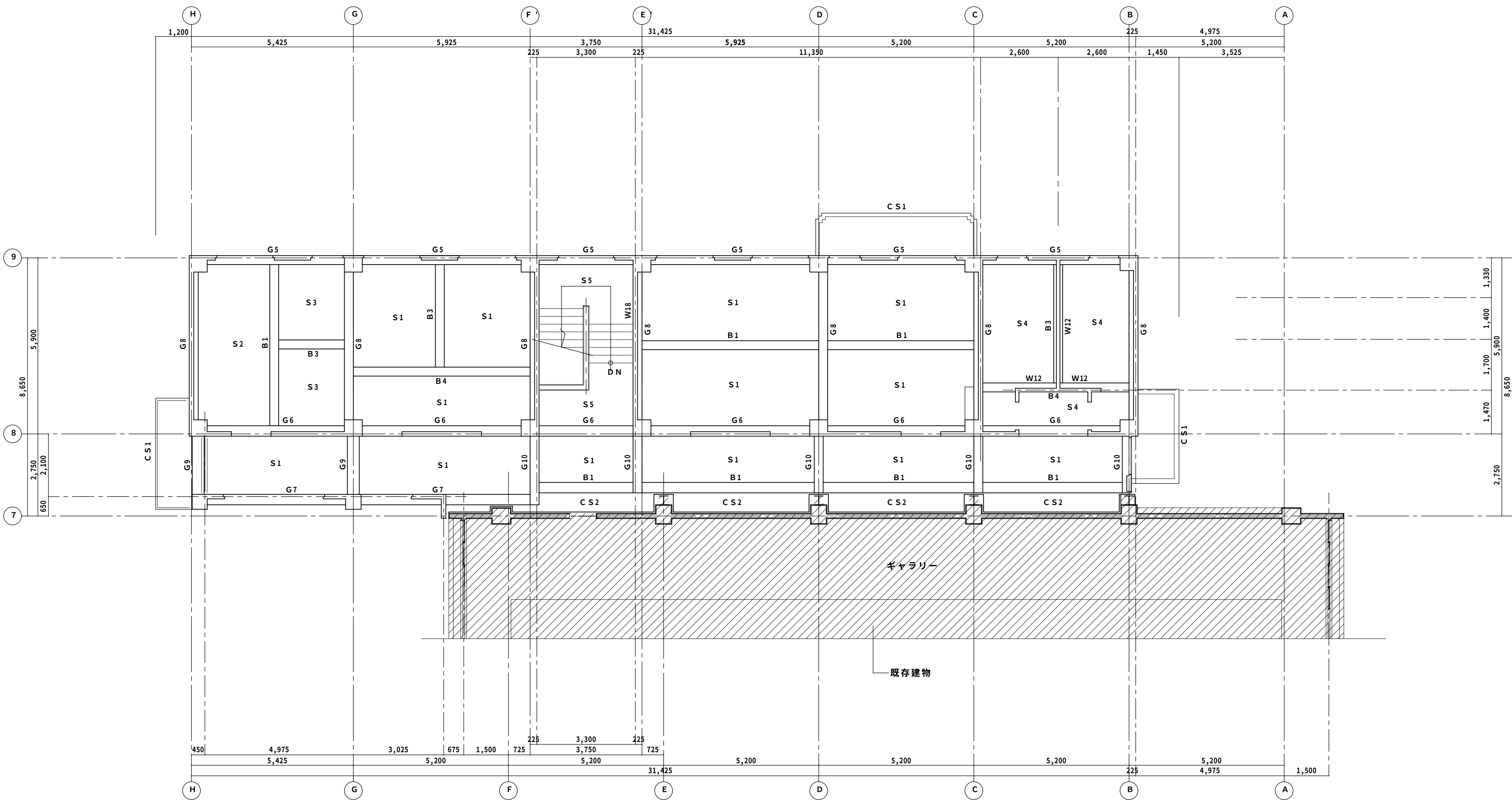


基礎伏図 1 / 100

註) 特記なき限り、壁はW15とする。

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	基礎伏図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S-1	S=1:100	年月		TEL 088-622-0883	第102935号
					FAX 088-622-0885	

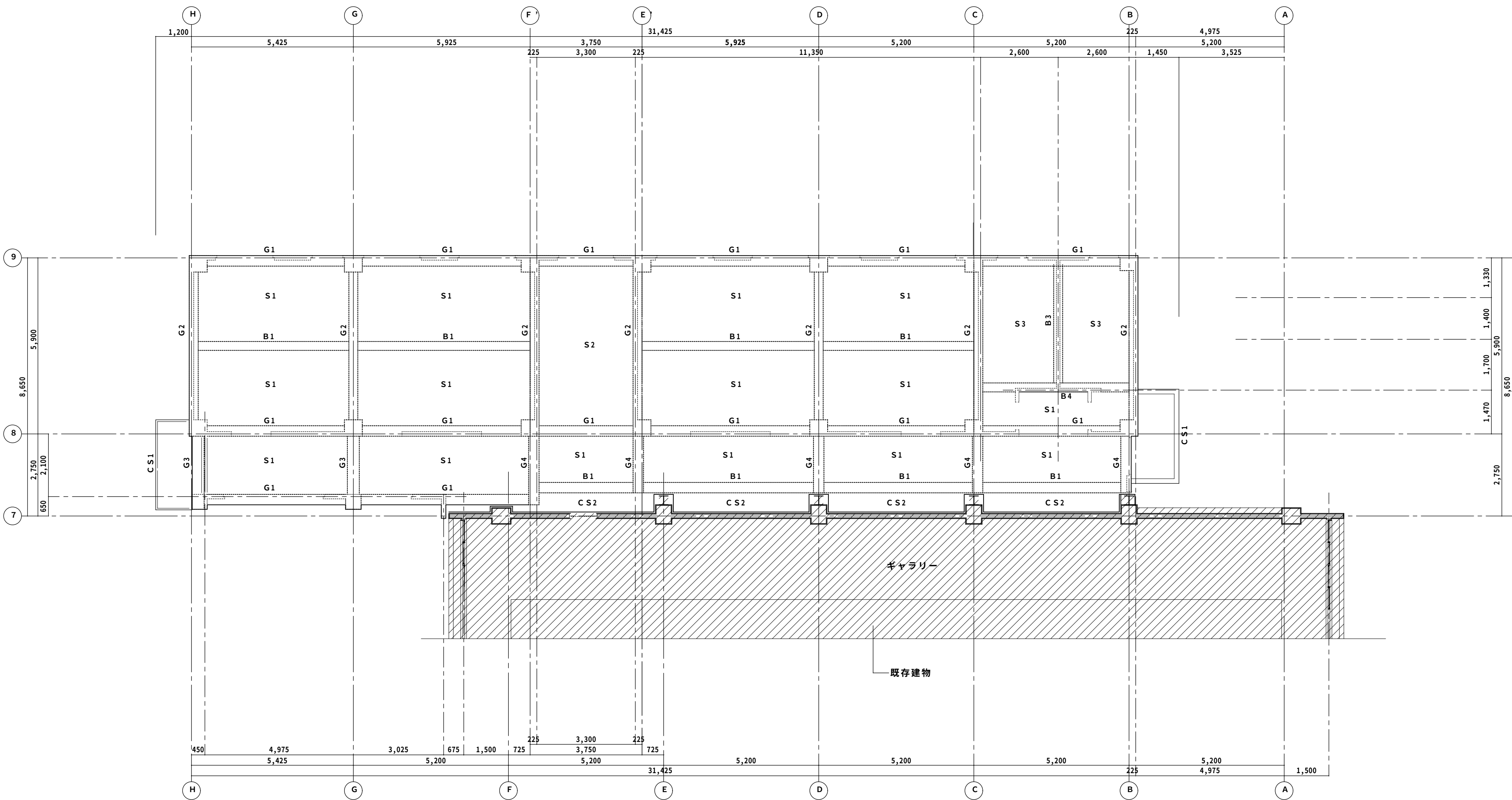


2階梁伏図 1 / 100

註) 特記なき限り、壁はW15とする。
既存部分とのエキスパンションW=100とする。

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	2階梁伏図					
図 番	S — 2	S = 1 : 100	年 月			

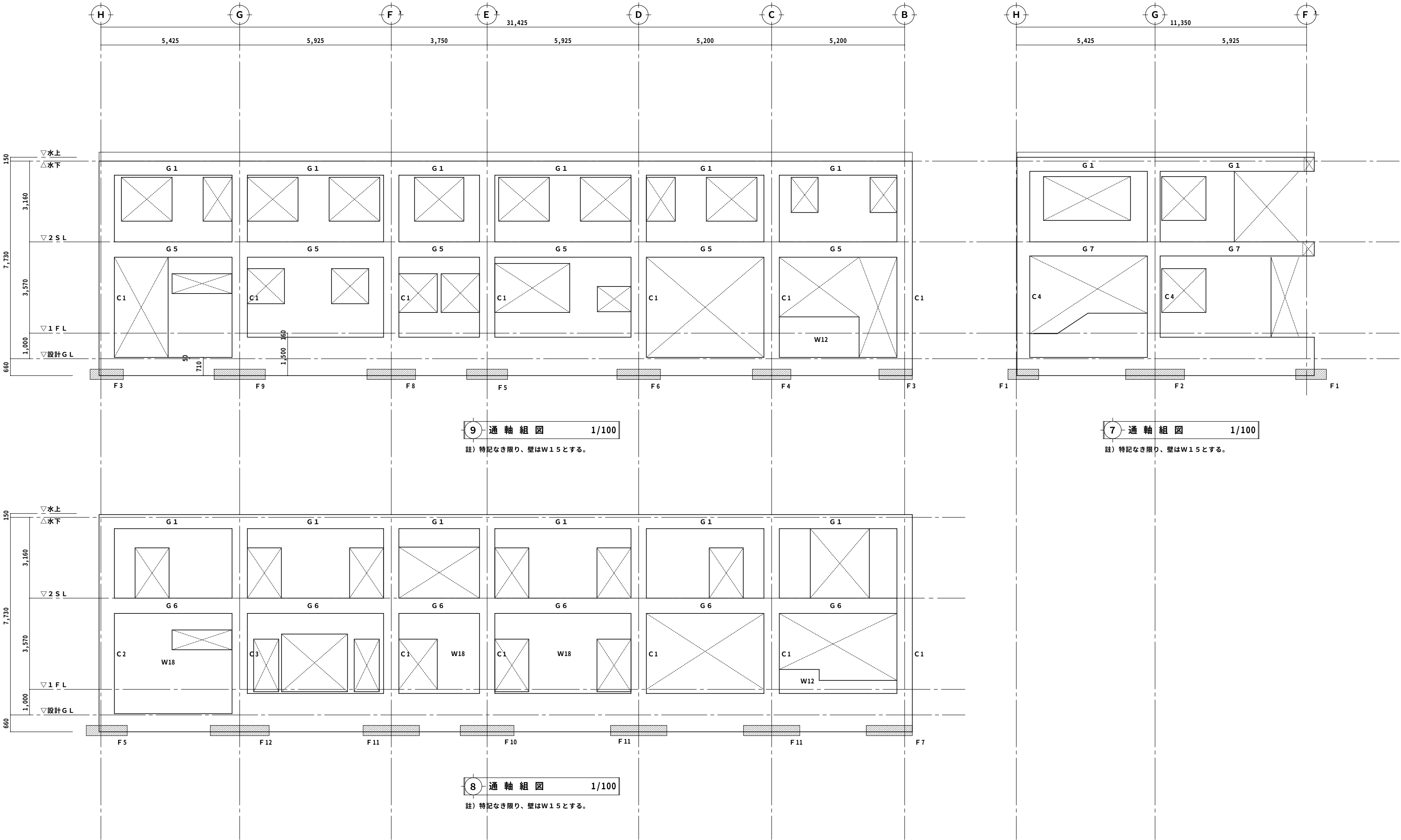


R 階梁伏図 1 / 100

註) 既存部分とのエキスパンションW=100とする。

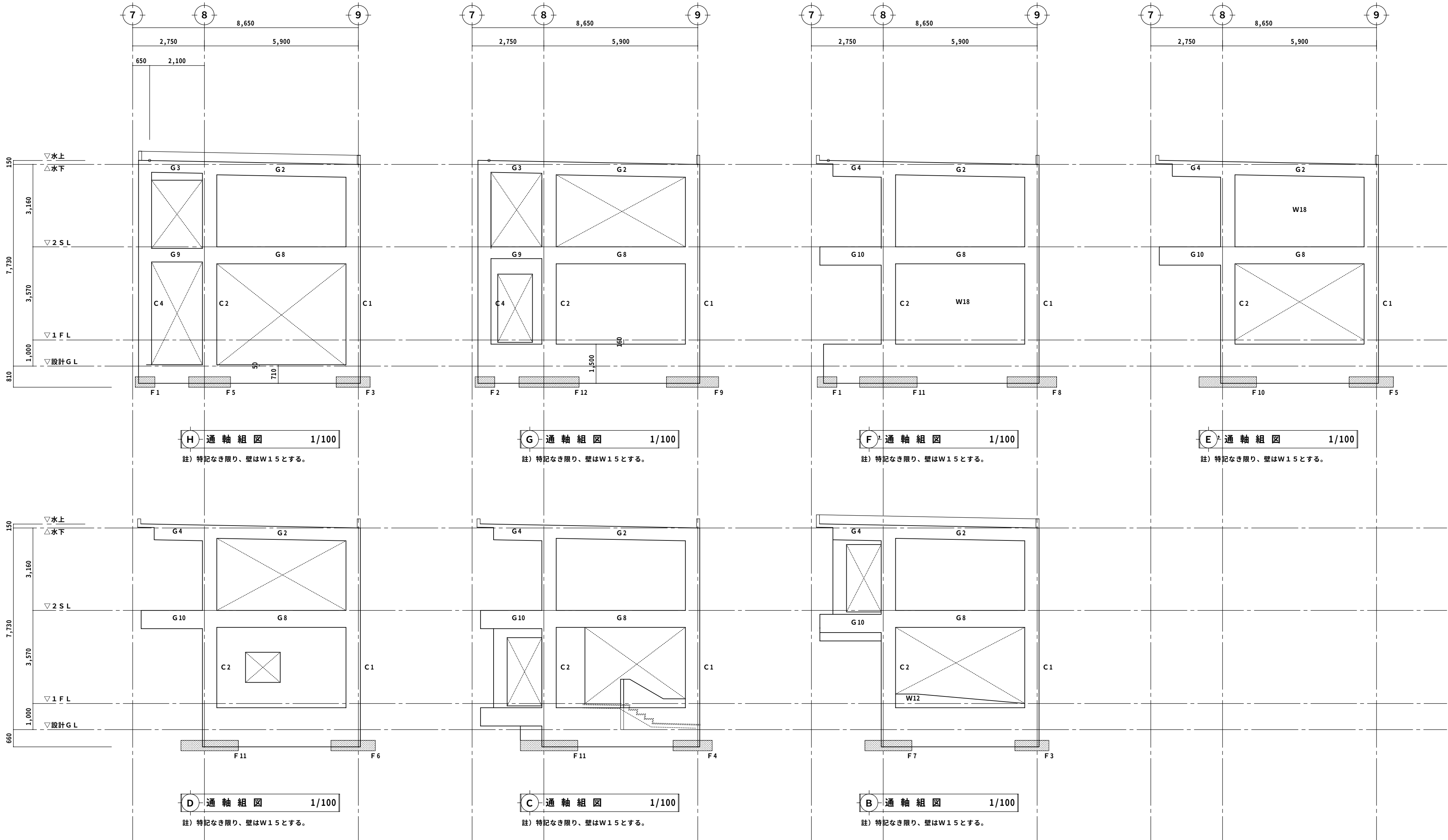
特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町 1 丁目 51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	R 階梁伏図					
図 番	S — 3	S = 1 : 100	年 月			



特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速水 可次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	軸図 - 1					
図 番	S — 4	S = 1 : 100	年 月			



特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町 1 丁目 51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1 級建築士登録 第 102935 号
名 称	軸図－2					
図 番	S — 5	S = 1 : 100	年 月			

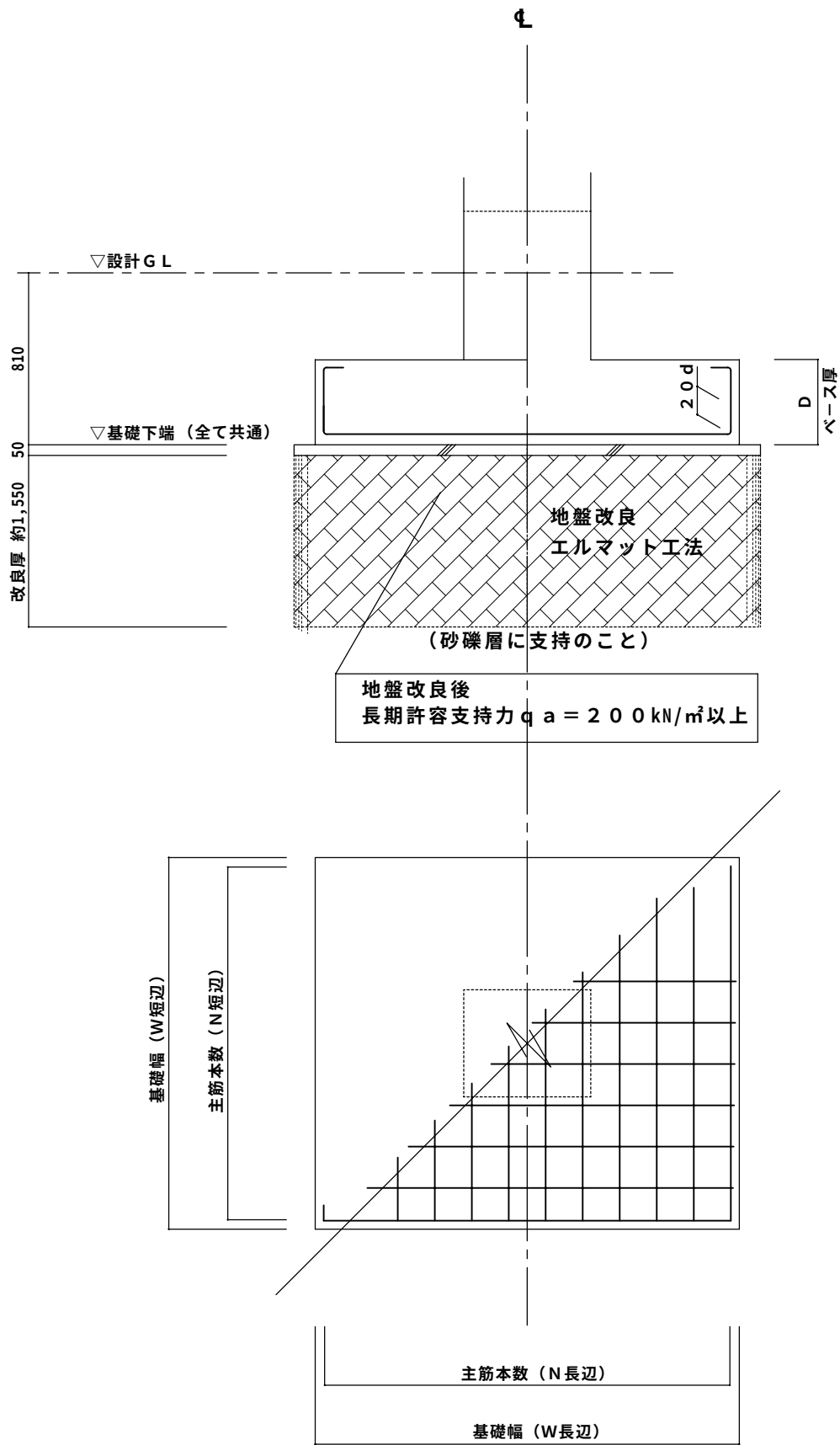
地盤改良工法

地盤改良仕様
エルマツ工法 同等工法
(流動化処理土を用いたソイルセメント工法)

- ### 1、工法概要
- (H14 改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針に基づく)
- 本地業は、施工対象地盤に一定量の固化材と水を地盤に投入しながら、現地盤土と機械的に攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を、構築するものである。
- ### 2、一般事項
- (1) 工事に先立ち、施工計画書を管理員に提出する。施工計画は次の事項を明記する。
- 1) 建物概要、地盤概要
 - 2) 工事内容（改良範囲、深さ、設計基準強度）
 - 3) 工事期間及び工程
 - 4) 工事要領（使用固化材、配合計画、固化材投入量、使用水量等）
 - 5) 施工機器
 - 6) 施工管理方法
 - 7) 品質管理の方法
 - 8) 仮設備とその配置
 - 9) 各種作業に従事する主たる人員の組織表
 - 10) 施工記録の方法
- 1) 1) 環境の保安対策
 - 1) 2) 安全対策
 - 1) 3) 建築請負者の本工事責任者名
 - 1) 4) 本工事施工業者名及び責任者名
- ### 3、特記事項
- (1) 事前に六価クロムが発生するかどうか検討を行い、管理員と協議の上対策を施すこと。
- (2) 本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したもので、工事に先立ち試験施工を行った後、管理員の承認を得たものとする。
- (3) 改良範囲、掘削深度（改良長+根切り長）、は設計図による。
- (4) ソイルセメントの設計基準強度は $F_c = 600 \text{ kN/m}^2$ とする。
- (5) 支持層は N 値 50 とする。 (改良体深さ：先端=6L-2.5m)
- (6) 本工事施工は、地盤改良専門業者の施工で、バックホウ先端に攪拌用の羽根付きバケットを付け十分に攪拌できる工法とする。
- ### 4、固化材の配合
- (1) 地盤改良に使用する固化材は、設計基準強度、土質及び使用材用を十分に考慮し、室内配合試験により、必要な強度が得られるように決定すること。
- (2) 配合方法：1回の施工エリアを決め、そのエリアに固化材と水を投入し、十分に攪拌する。
- (3) 使用量：固化材と水の配合は、事前配合にて決定する。(W/C=150%以内を目標)
- ### 5、施工
- (1) 固化材、水の充填方法は、掘削時充填工法とする。
- (2) 施工に対して擾乱が生じた場合はただちに管理員と協議し、その指示を受ける。
- ### 6、施工機器
- (1) 改良機本体は、本工事に必要な器具（投入水の管理機材を含む）を装備、したもので、自走式とする。
- (2) 攪拌バケットは、曲がりや欠損の無いものとし、攪拌翼を装備したものとする。

供試体（モールド管による採取）
 建築センターの指針による、本数を採取する。採取する場所は、
 管理者の立会いで、指示のあった場所から採取する。

1 / 30



註) 配筋は, 全てモチアミ配筋のこと

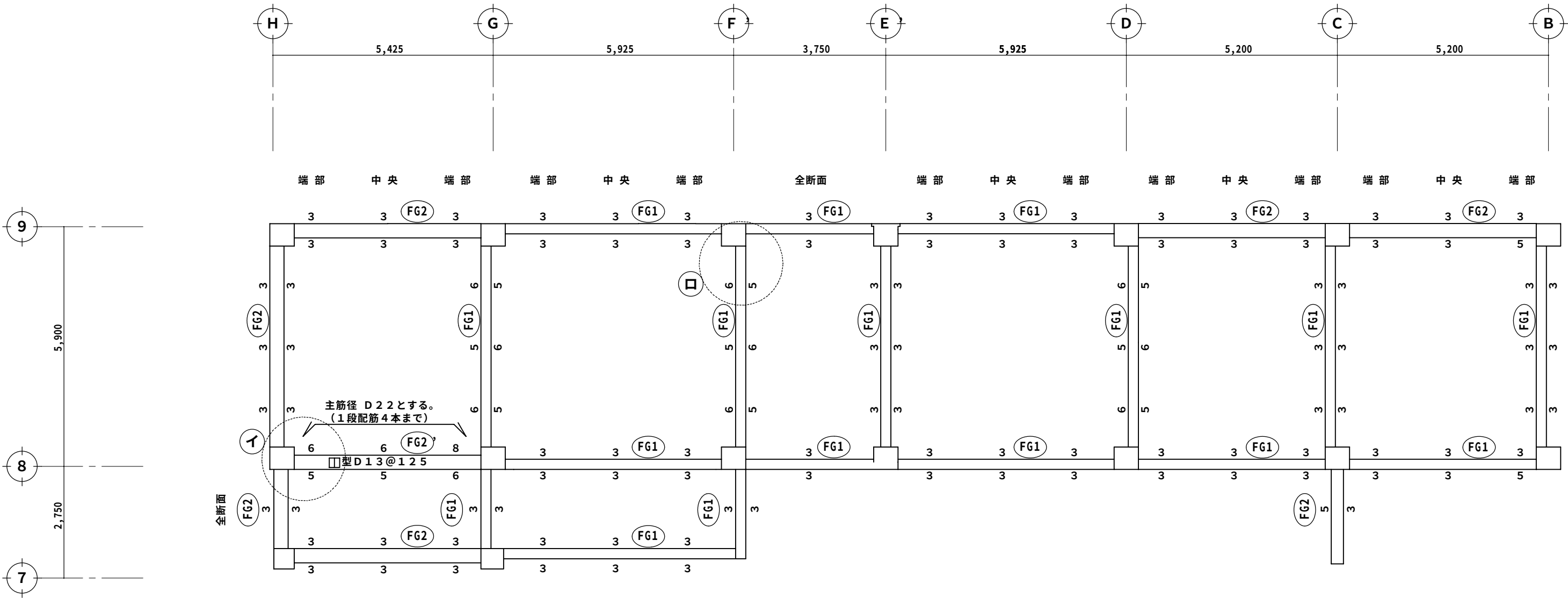
符 号	ベース厚 (D)	基礎幅 (W短辺)	主筋本数 (N短辺)	備 考
		基礎幅 (W長辺)	主筋本数 (N長辺)	
F 1	400	750	6-D16	
		1,200	6-D16	
F 2	400	750	12-D16	
		2,300	7-D16	
F 3	400	1,400	7-D16	
		1,400	7-D16	
F 4	400	1,500	7-D16	
		1,500	7-D16	
F 5	400	1,600	8-D16	
		1,600	8-D16	
F 6	400	1,700	9-D16	
		1,700	9-D16	
F 7	400	1,800	9-D16	
		1,800	9-D16	
F 8	400	1,900	8-D19	
		1,900	8-D19	
F 9	400	2,000	9-D19	
		2,000	9-D19	
F 10	400	2,100	10-D19	
		2,100	10-D19	
F 11	400	2,200	11-D19	
		2,200	11-D19	
F 12	400	2,300	12-D19	
		2,300	12-D19	

1/30 註) 巾止め筋は、D10@1,000以内とする。

符 号	F B 1	F B 2
区 分	全断面	全断面
断 面		
B × D	350 × 710	250 × 900
上 端 筋	3-D 22	3-D 22
下 端 筋	3-D 22	3-D 22
スラッグ	D 13 @ 200	D 10 @ 200
腹 筋	4-D 10	6-D 10

特記：

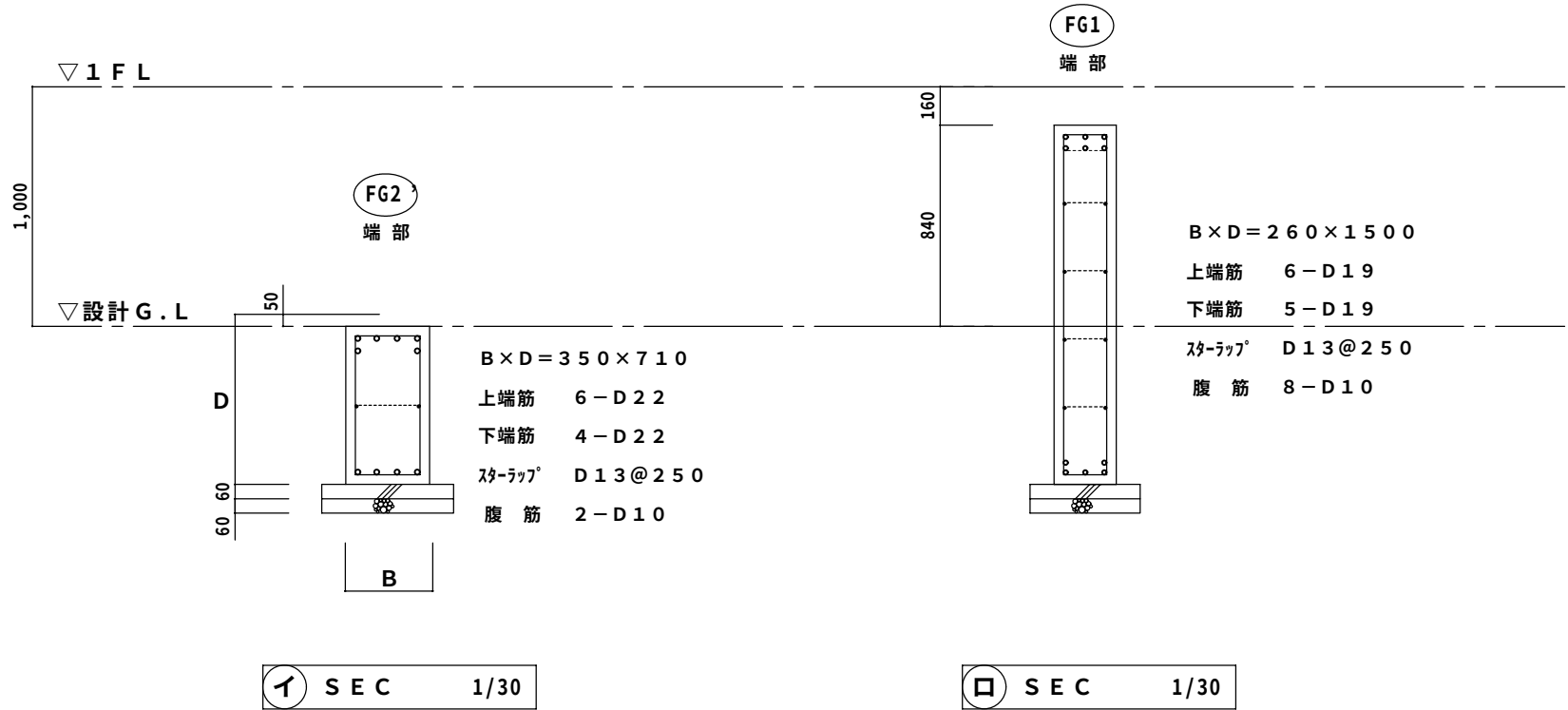
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	基 礎 リ ス ト				徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	S — 6	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



◆地中大梁断面表	
FG1	: B × D = 260 × 1500 (一段配筋, 3本まで)
FG2	: B × D = 350 × 710 (一段配筋, 5本まで)
FG2'	: B × D = 350 × 710 (一段配筋, 4本まで)
主筋径	D19 (FG2'のみD22)
スラップ	特記なき限り、D13@250とする。
腹筋	FG1 8-D10
	FG2 2-D10
巾止め筋は、D10@1,000以内とする。	

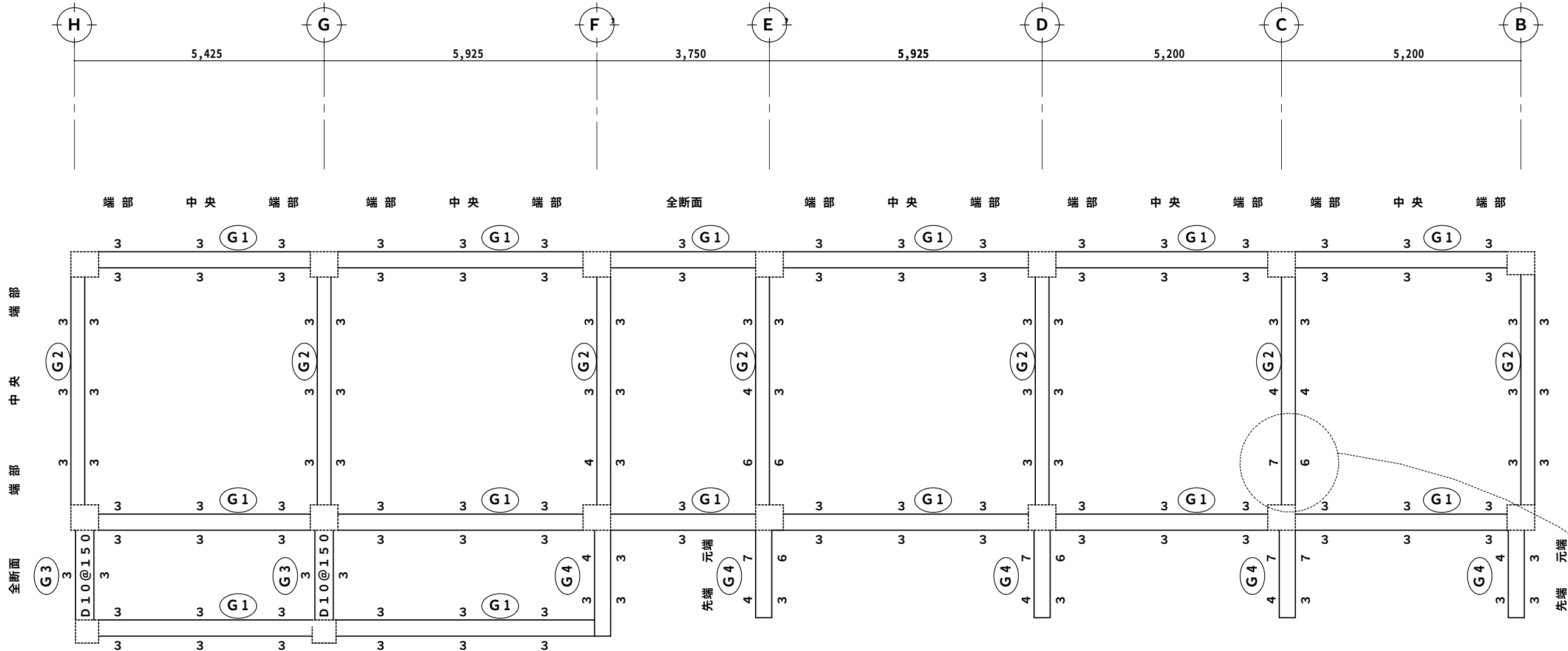
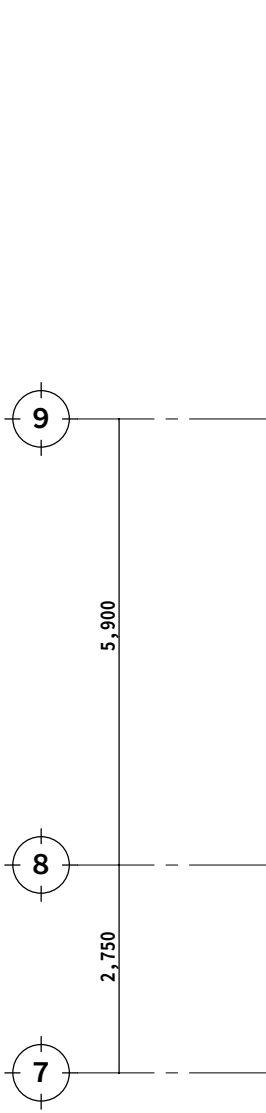
地中大梁リスト 1 / 100

特記事項			
コンクリート	FC = 21 N/mm ² (+ 3 N/mm ²)	(躯体)	sl = 18 cm
	FC = 21 N/mm ²	(土間コン)	sl = 15 cm
	FC = 18 N/mm ²	(捨てコン)	sl = 15 cm
鉄筋	SD345	(D19以上)	
	SD295A	(D16以下)	
	継ぎ手	圧接	
註) 鉄筋加工作成に当たっては、(社)徳島県建築士事務所協会発行の鉄筋コンクリート構造配筋基準に倣うこととする。			



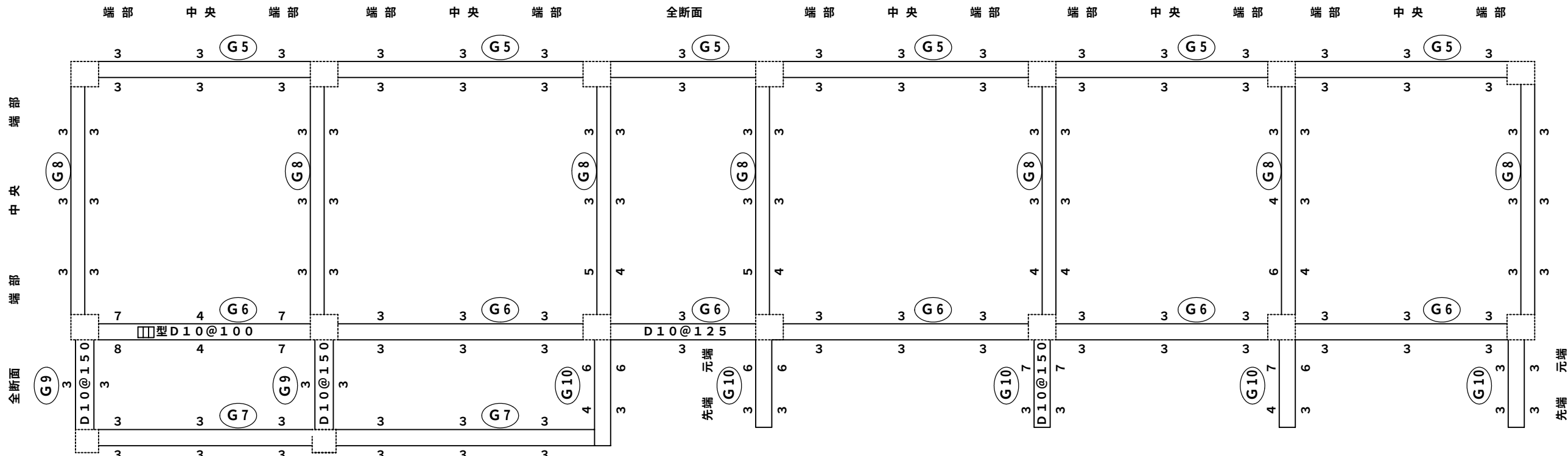
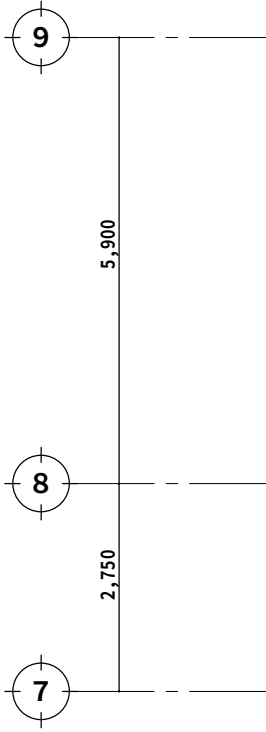
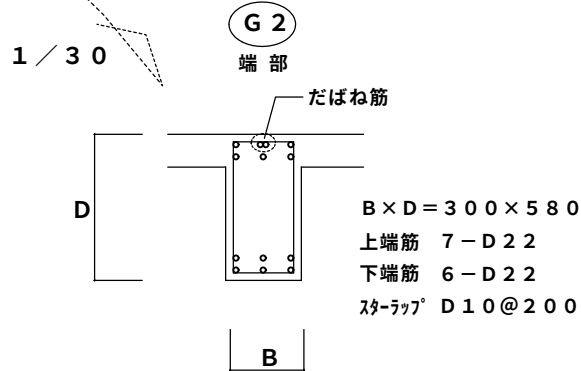
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	地中大梁リスト				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S — 7	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



R 階大梁リスト 1 / 100

◆R 階大梁断面表	
G 1 : B × D	= 350 × 550 (一段配筋, 4本まで)
G 2 : B × D	= 300 × 580 (一段配筋, 3本まで)
G 3 : B × D	= 400 × 450 (一段配筋, 5本まで)
G 4 : B × D	= 350 × 650 (一段配筋, 4本まで)
主筋径 D 22	
スラップ 特記なき限り、D 10@200とする。	
腹筋 G 4 2-D 13	
巾止め筋は、D 10@1,000以内とする。	

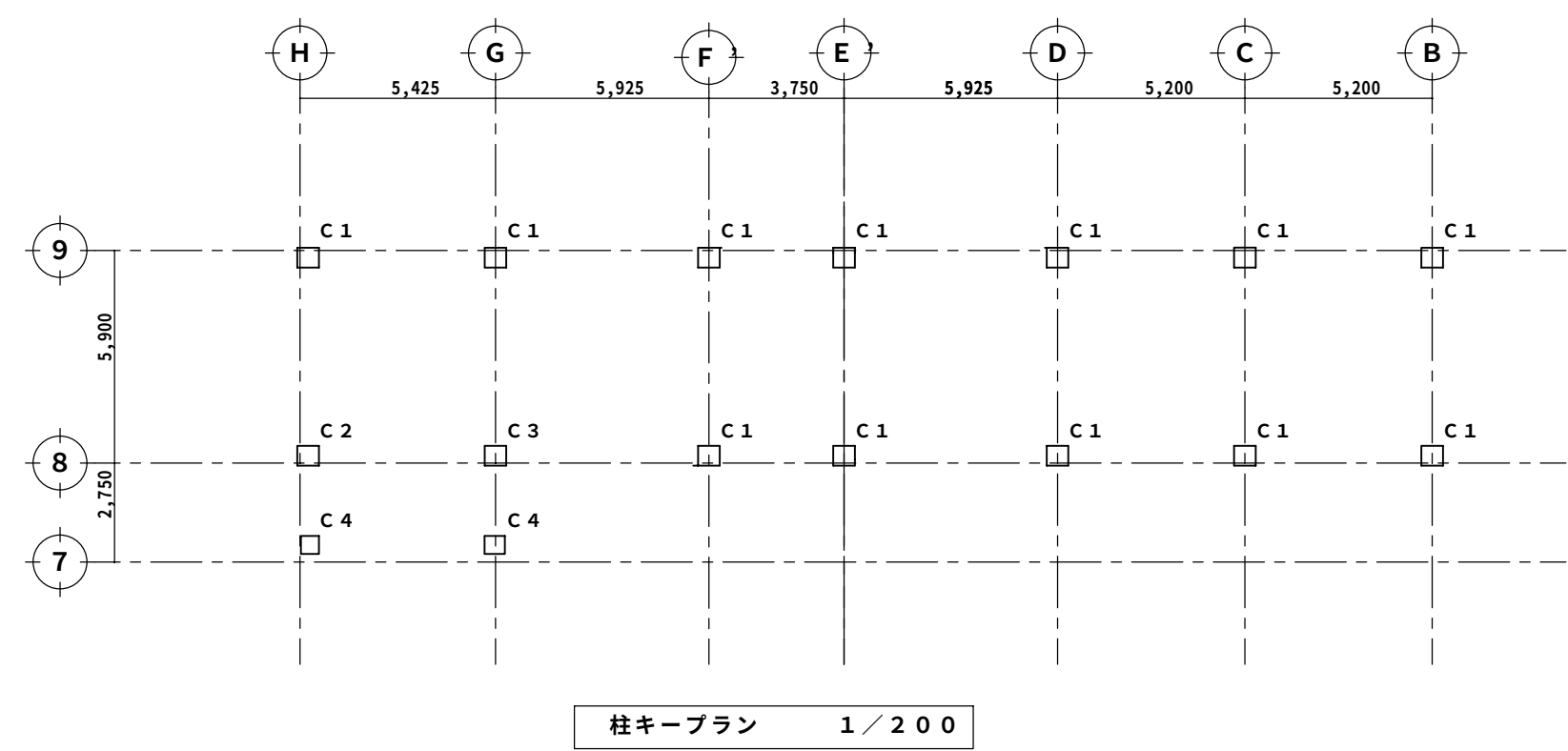


2 階大梁リスト 1 / 100

◆2 階大梁断面表	
G 5 : B × D	= 300 × 600 (一段配筋, 3本まで)
G 6 : B × D	= 350 × 600 (一段配筋, 4本まで)
G 7 : B × D	= 350 × 550 (一段配筋, 4本まで)
G 8 : B × D	= 300 × 650 (一段配筋, 4本まで)
G 9 : B × D	= 400 × 550 (一段配筋, 5本まで)
G 10 : B × D	= 300 × 700 (一段配筋, 3本まで)
主筋径 D 22	
スラップ 特記なき限り、D 10@200とする。	
腹筋 G 5, G 6, G 8, G 10 2-D 13	
巾止め筋は、D 10@1,000以内とする。	

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	大梁リスト				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S-8	S=1:100	年月		TEL 088-622-0883	第102935号
					FAX 088-622-0885	

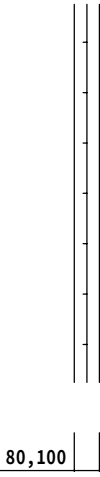
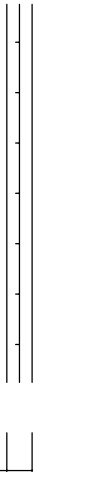
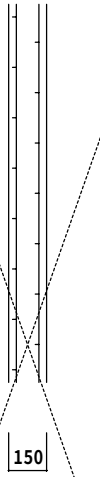
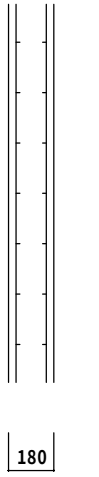
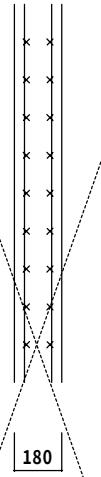
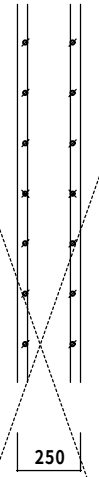
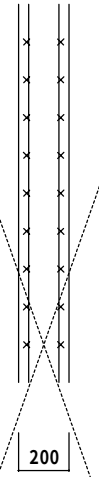
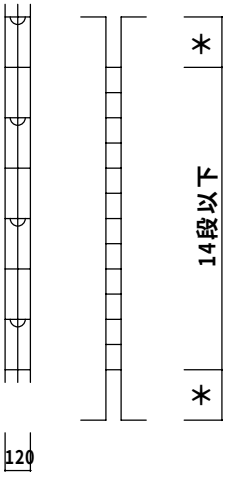
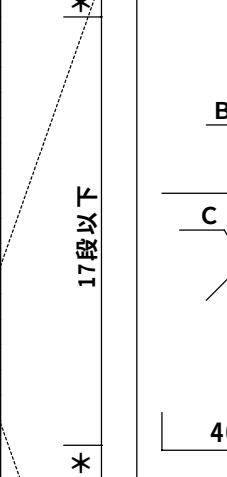
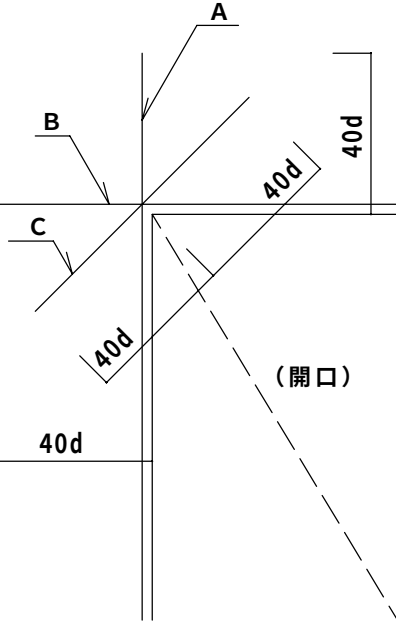


柱断面リスト 1/30 註) ダイヤフープはD10@500以内とすること。

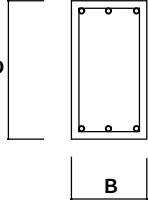
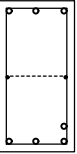
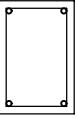
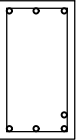
符 号	C 1	C 2	C 3	C 4	
部 位	全断面	全断面	全断面	全断面	
2 階					
Dx × Dy	600 × 550	600 × 550	600 × 550	450 × 450	
主 筋	8-D22	8-D22	8-D22	8-D22	
フープ	D13@100	D13@100	D13@100	D13@100	
1 階					
Dx × Dy	600 × 550	600 × 550	600 × 550	450 × 450	
主 筋	8-D22	12-D22	10-D22	8-D22	
フープ	D13@100	型D13@100	型D13@100	D13@100	

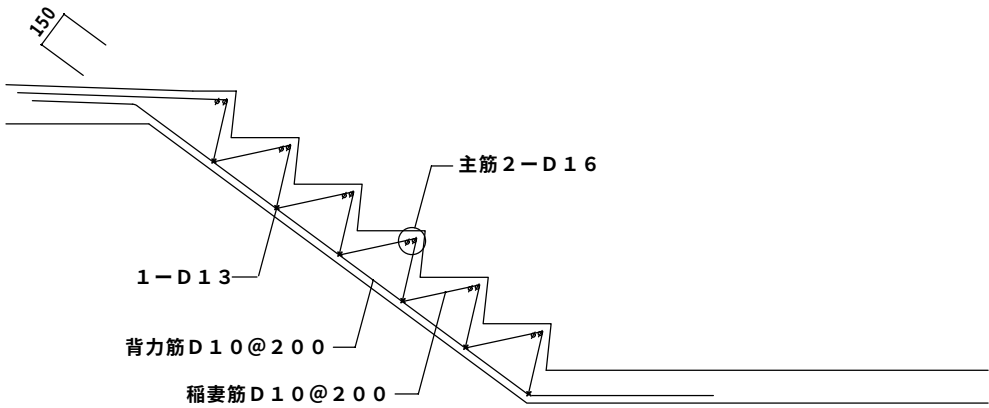
特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	柱断面リスト					
図 番	S — 9	S = 1 : 100	年 月			

符 号	手すり壁 W8,W10	W12	W15	E W15	W18	K W18	W25	K W20	C B 12	C B 15	開口部補強筋
断 面 (水 平)											
縦 筋	D10@150	D10@200	D10@250 (チドリ)	D10@200 (チドリ)	D10@200	D13@200	D16@200	D13@150	D10@400	D10@400	
横 筋	D10@200	D10@200	D10@250 (チドリ)	D10@200 (チドリ)	D10@200	D10@200	D13@200	D10@200	D10@400	D10@400	
開口部 補強筋	A	1-D13	1-D13	2-D16	2-D16	2-D16	2-D19	2-D16			
	B (天端)	2-D13	1-D13	2-D16	2-D16	2-D16	2-D19	2-D16			
	C	1-D13	1-D13	2-D13	2-D13	2-D16	2-D19	2-D16			
備 考									*印はRCとし,意匠図による	*印はRCとし,意匠図による	

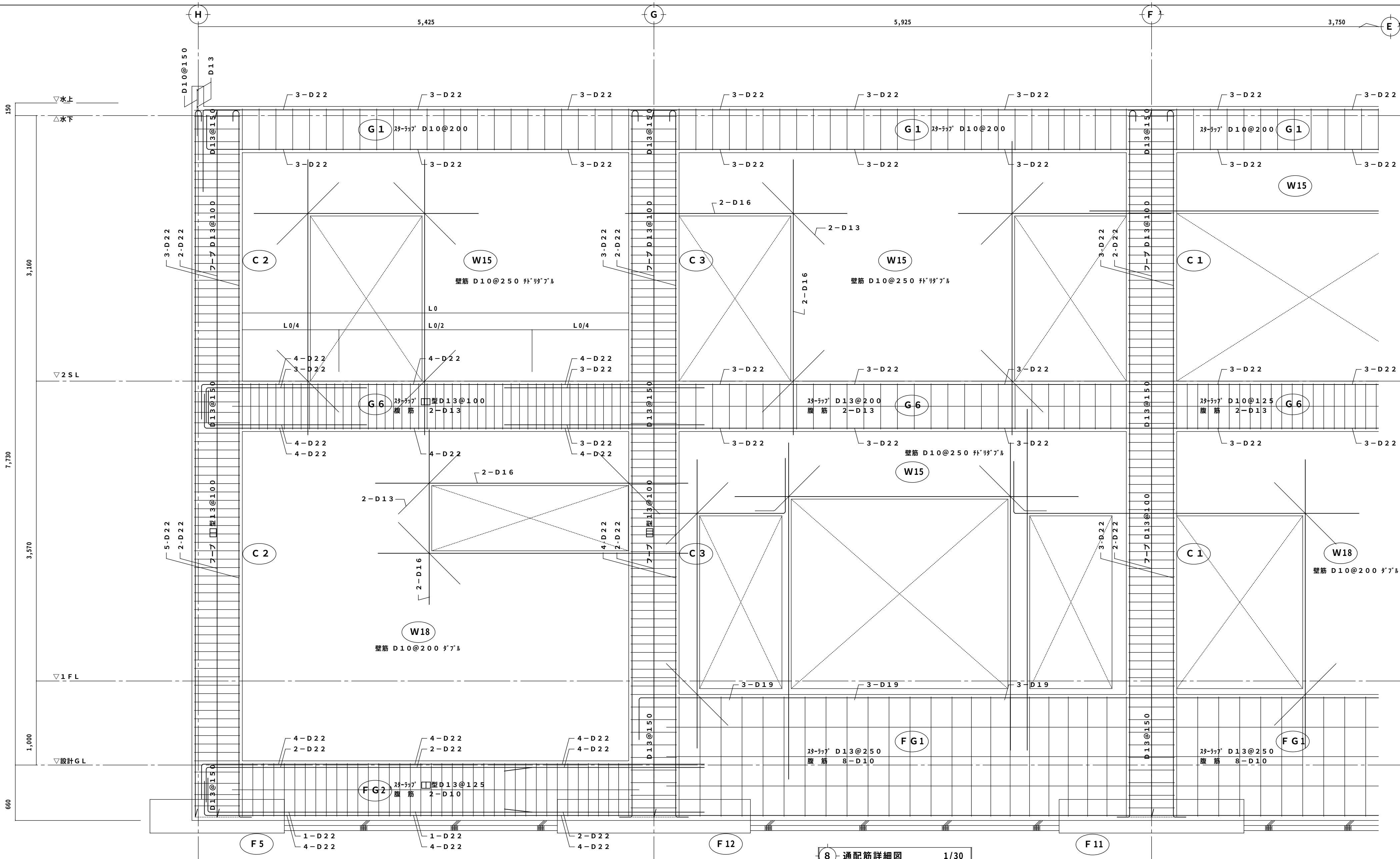
符 号	厚 さ	位 置	短辺方向	長辺方向	備 考
S 1	130	上端筋	D13,D10 @200	D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
S 2	130	上端筋	D13,D10 @200	D13,D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
S 3	130	上端筋	D10 @200	D13,D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D10 @200	
S 4	130	上端筋	D10 @150	D10 @150	
		下端筋	D10 @150	D10 @150	
S 5	150	上端筋	D13,D10 @200	D13,D10 @200	
		下端筋	D10 @200	D13,D10 @200	
C S 1	先端120 元端150	上端筋	D13 @150	D10 @200	長辺方向先端部
		下端筋	D10 @200	D10 @200	2-D13
C S 2	130	上端筋	D13,D10 @200	D10 @200	長辺方向先端部
		下端筋	D10 @200	D10 @200	2-D13

符 号	B 1	B 2	B 3	B 4	
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	
断 面					
B X D	300 × 550	300 × 600	300 × 450	300 × 550	
上端筋	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	
下端筋	3-D22	4-D22	2-D22	4-D22	
スターラップ	D10@200	D10@150	D10@200	D10@150	
腹 筋		2-D10			



特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	壁断面リスト	小梁断面リスト			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	S ー 10	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



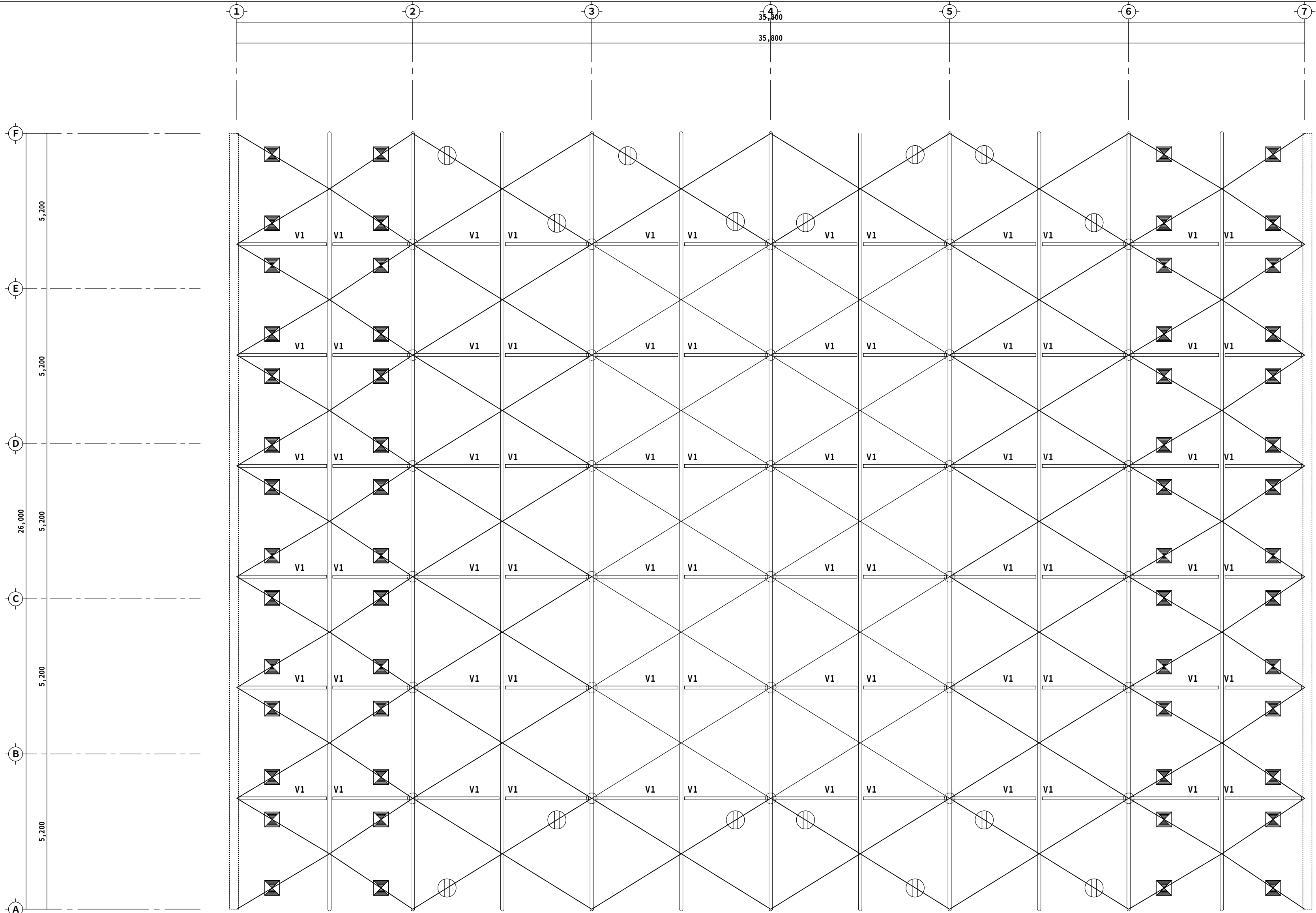
8 通配筋詳細図 1/30

註) 特記なき限り、壁はW15とする。

特記：

図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。
外壁廻りのEXP. Jは2時間耐火仕様とする。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	配筋詳細図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S	— 11	S = 1 : 100	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



屋根ブレース取り替え位置図 1/100

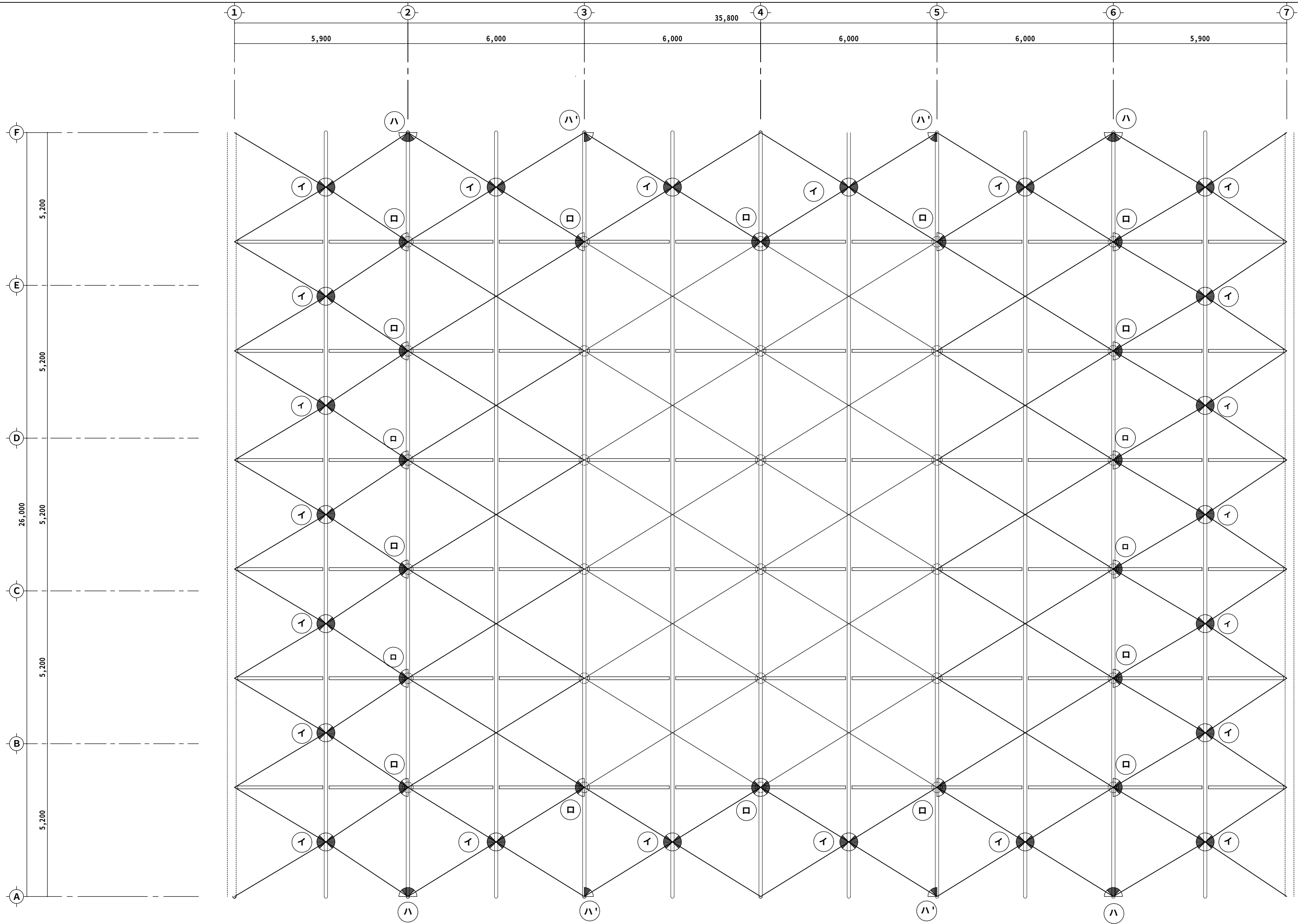
註)  印を 8 9 . 1 φ X 3 . 2 (STK490)に取り替え箇所とする。(取り付け部分も含む)

 印を 6 0 . 5 φ X 3 . 2 (STK490)に取り替え箇所とする。(母材のみ)

V 1 は H - 200 X 100 X 5.5 X 7を示す。(新設)

特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	屋根ブレース取り替え位置図						
図 番	S	— 1 2	S = 1 : 100	年	月		

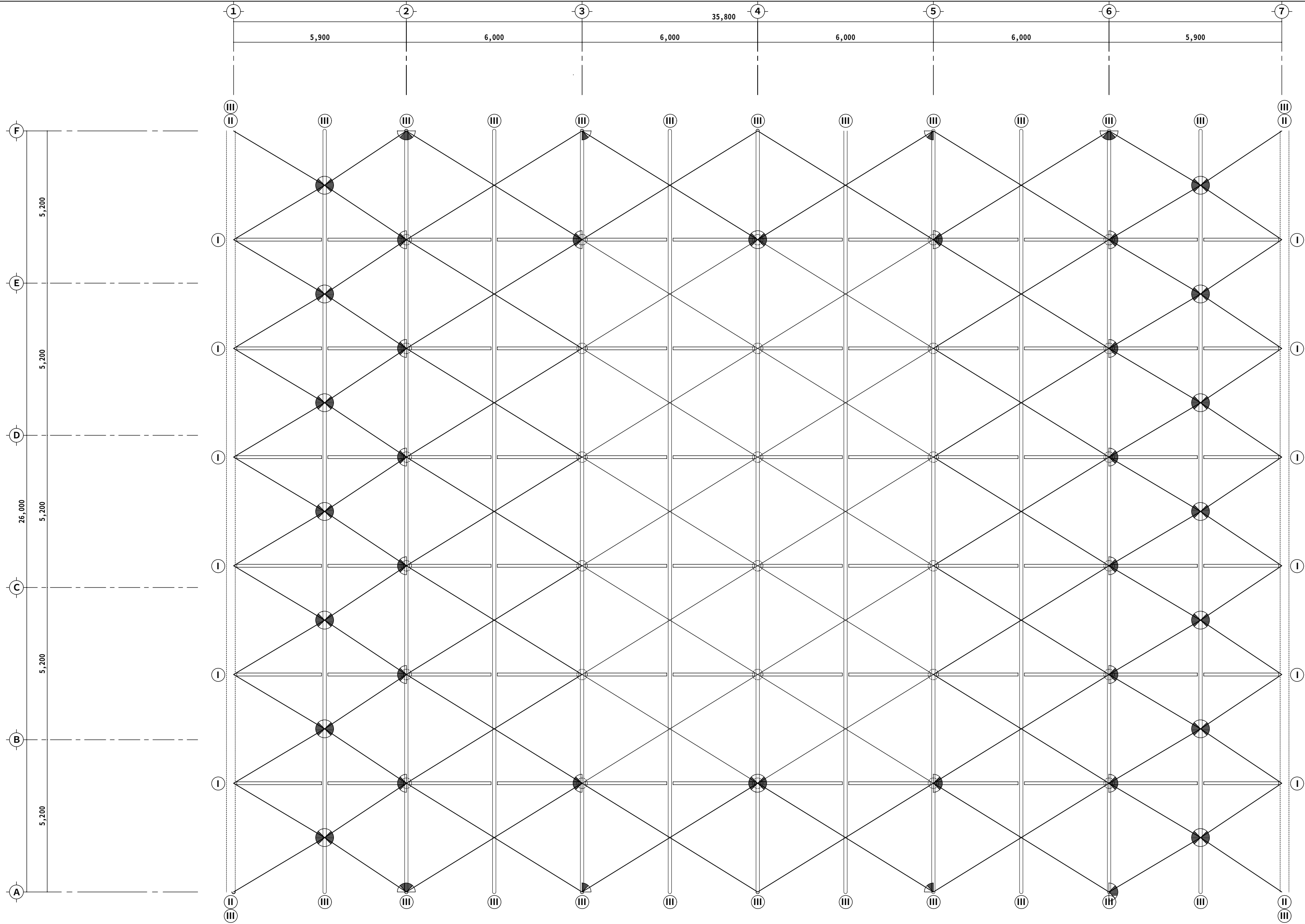


ファスナー取り替え位置図 1/100

- 註) (イ) 印はG.P.Lの左右(両方)の取り替えを示す。
註) (□) 印はG.P.Lの片方の取り替えを示す。
註) (ハ) 印はトラス梁端部のG.P.Lの取り替えを示す。
註) (ハ') 印は (ハ) 印の半分の取り替えを示す。(グラインダー併用のうえ、溶接)

特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	ファスナー取り替え位置図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	S	— 1 3	S = 1 : 100	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

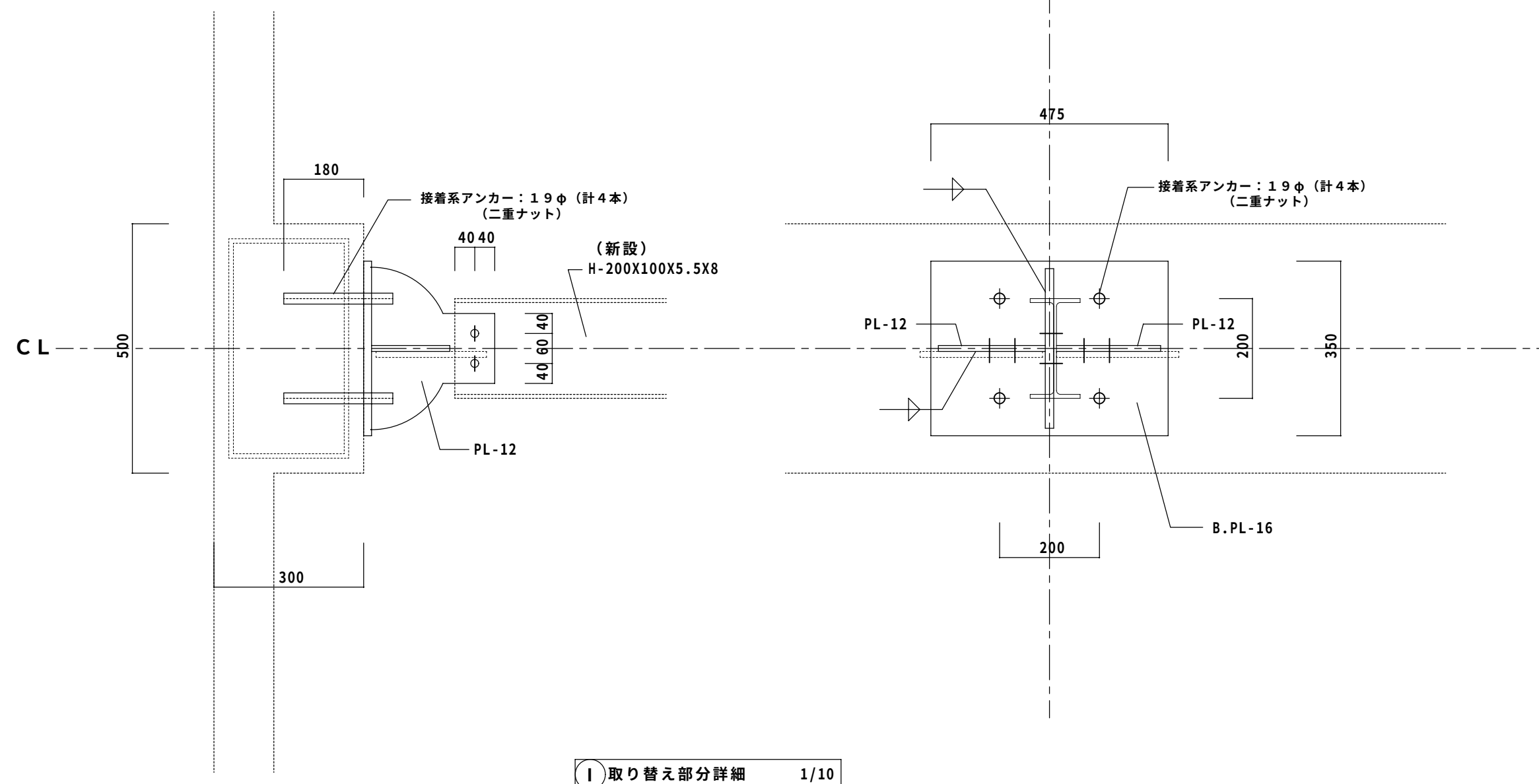
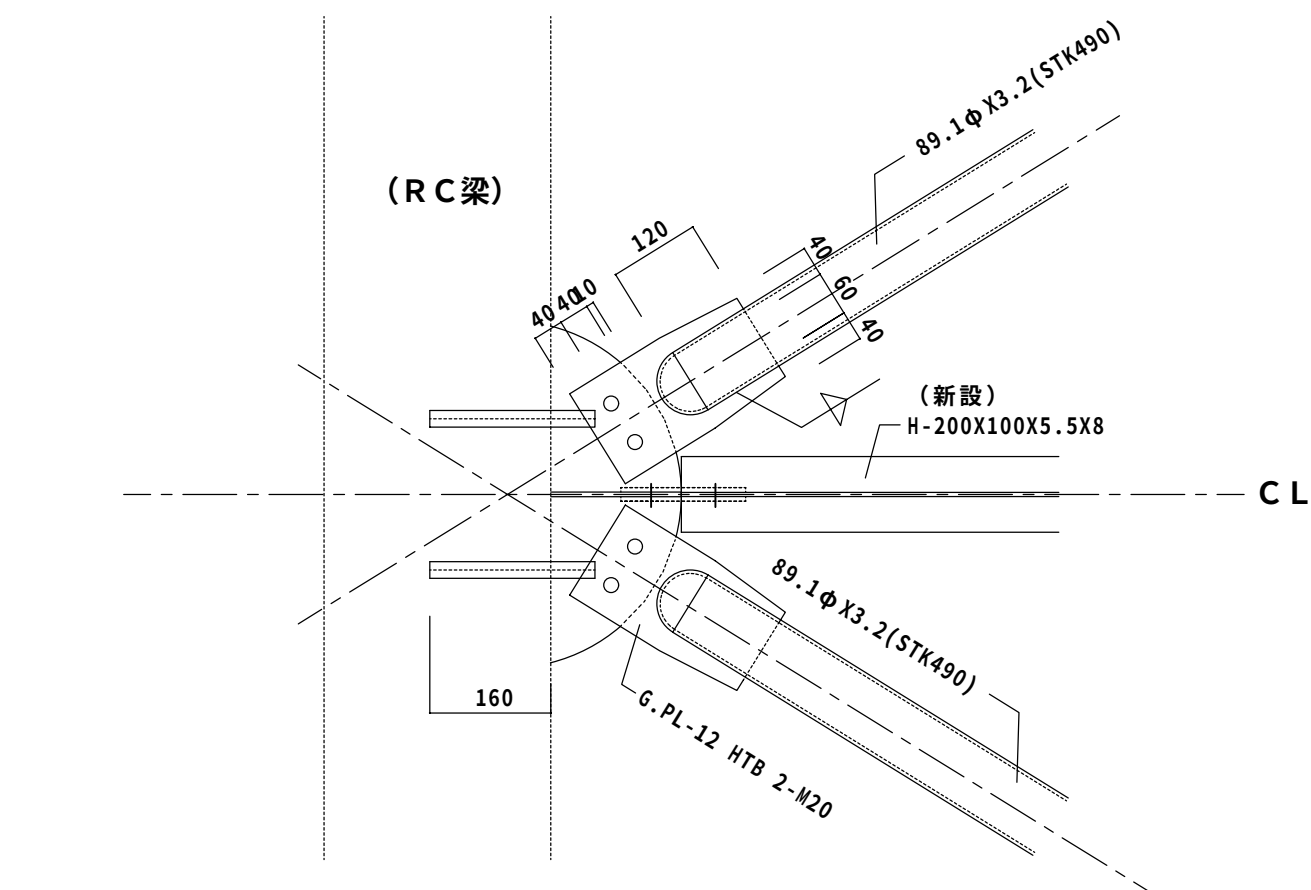
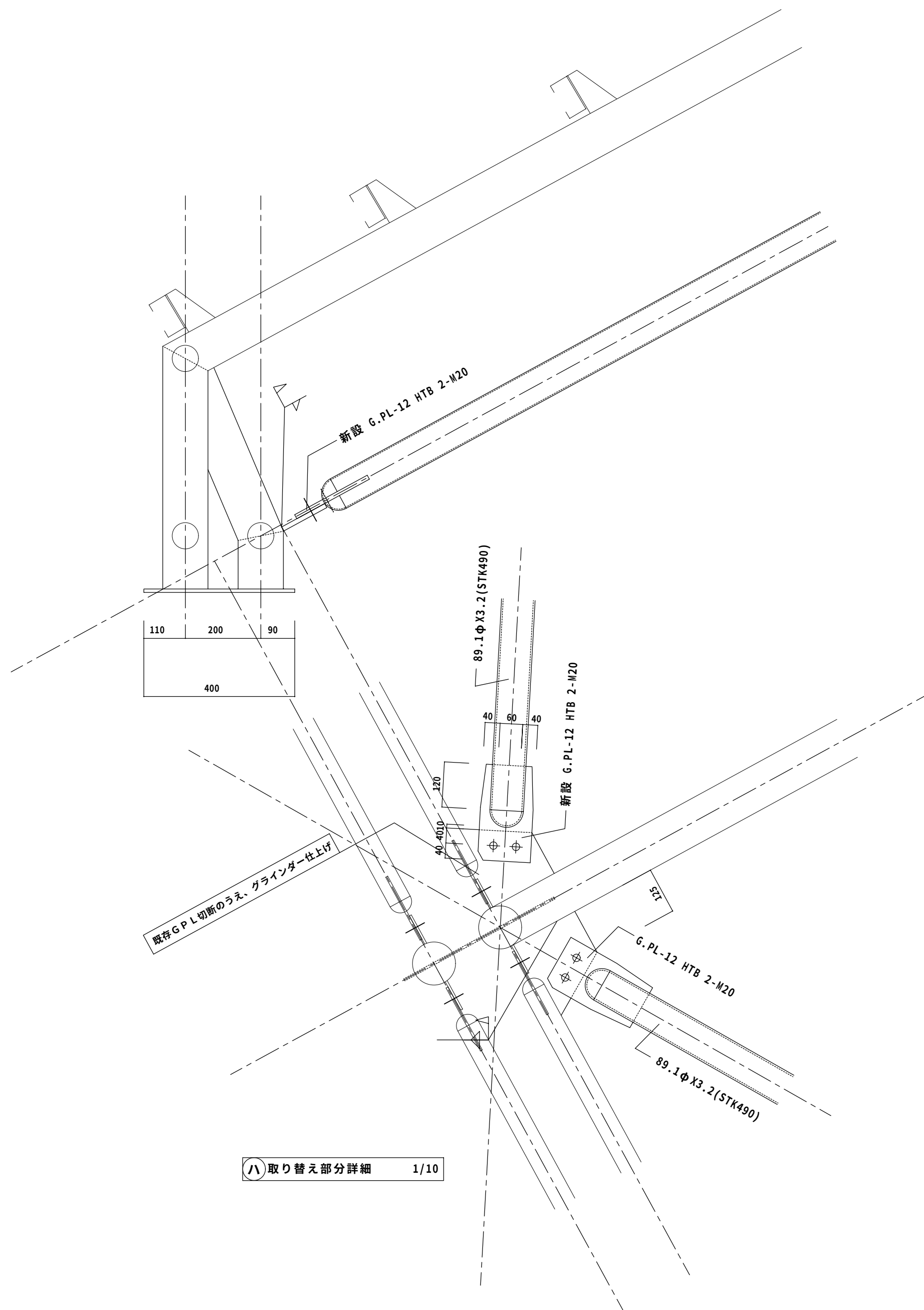


周囲アンカーボルト等改修図 1/100

註) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 印をアンカーボルト等の改修位置を示す。
(別紙詳細図参照のこと)

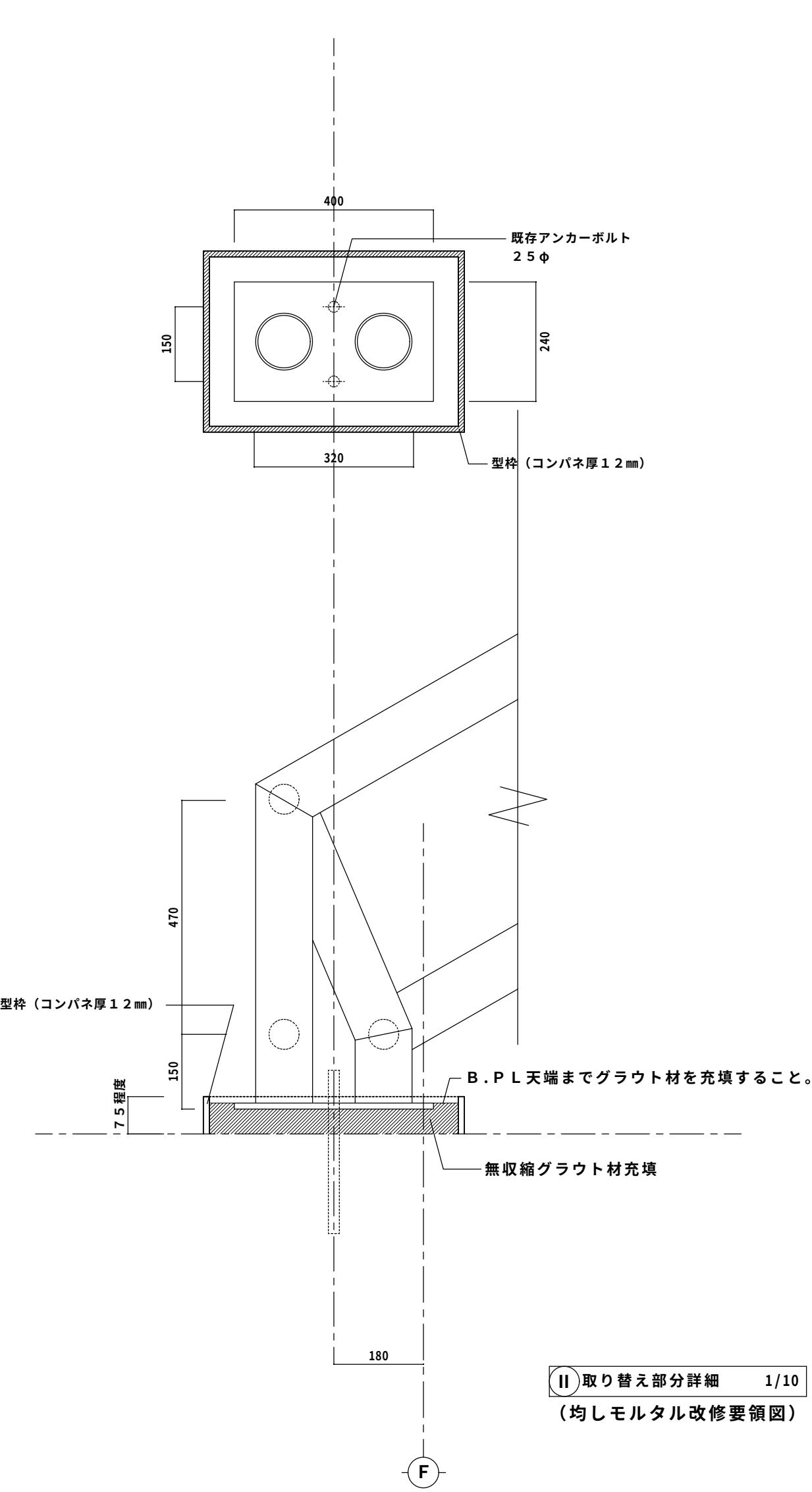
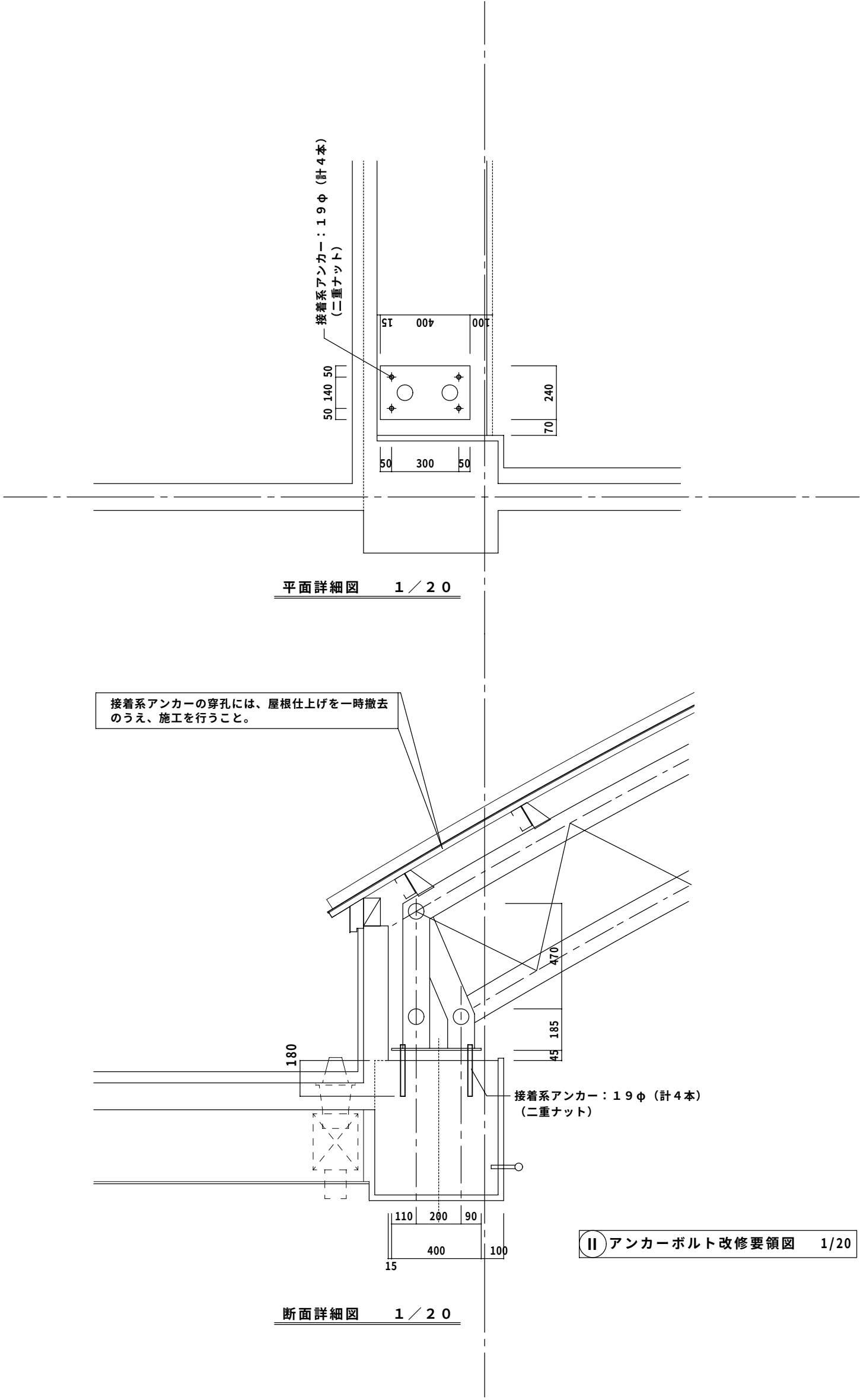
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	周囲アンカーボルト等改修図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S	—	14	S = 1 : 100	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885



特 記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	取り替え部分詳細（２）				徳島市新蔵町１丁目51-1	１級建築士登録
図 番	S — 1 6	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

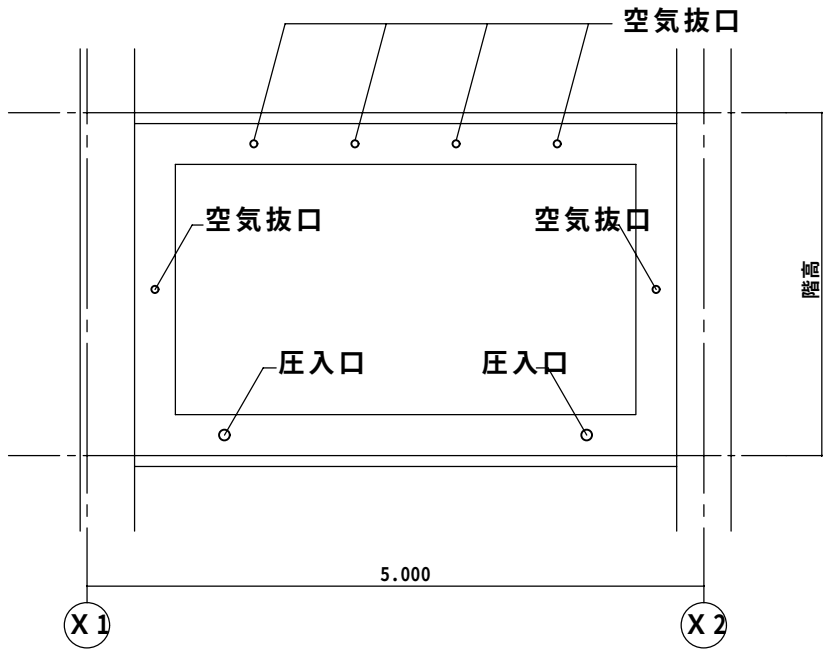


特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	取り替え部分詳細（3）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S — 17	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

特記事項

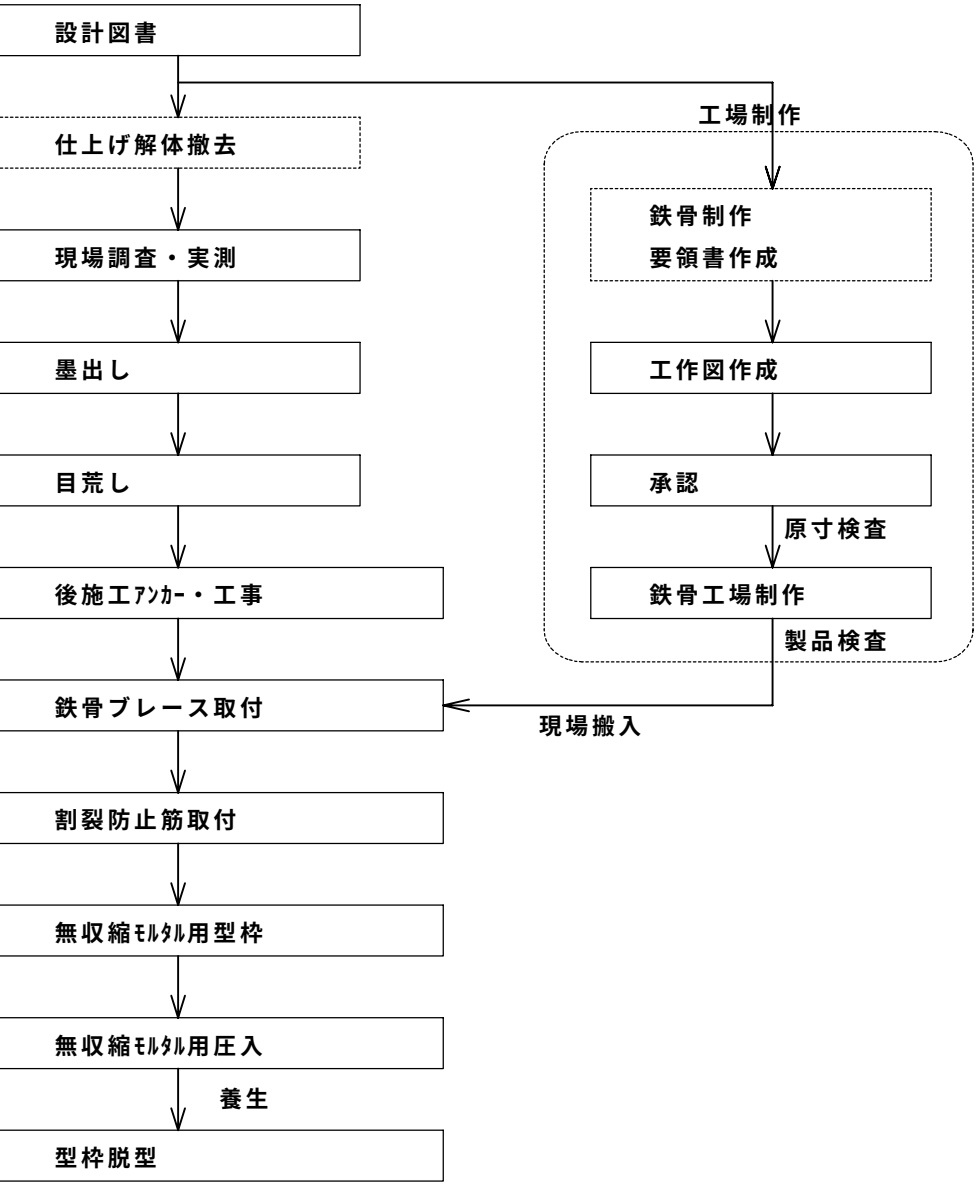
1. 補強タイプ	V1：鉄骨枠付 K 型ブレースによる補強	(4方枠)
2. 使用鋼材	a) SS400 規格品	(JIS G 3101)
	b) 頭付きスタッド	JIS B 1198 規格品
	c) アンカー筋	JIS G 3112 3種 SD345 規格品
3. 塗 装	JIS K 5622 鉛丹さび止めペイント	2種 2回 (コンクリート,モルタル,グラウト,コーキング等に接する部分に塗装しないこと。)
4. 使用鉄筋	SD295A (D13以下) 規格品	(JIS G 3112)
	SD345 (D16以上) 規格品	(JIS G 3112)
5. 使用モルタル	設計基準強度 (無収縮) Fm=300kg/cm2	
6. あと施工アンカー (接着系アンカー)	メーカーにより素材強度が保証されたもの。	
7. 注意事項	a) H型钢材及びスパイラル筋の材料加工に先立ち躯体寸法を実測し、これらの部材を実状に合った寸法とする。 b) 補強部材と小損コンクリート躯体との接触面については、既存コンクリート躯体面を目荒らしとし、コンクリートまたはモルタル打設前に充分水湿しを行う。	
8. 無収縮モルタル圧入	鉄骨枠と躯体との間に圧入する。	



立面図 (四周枠) 1/50

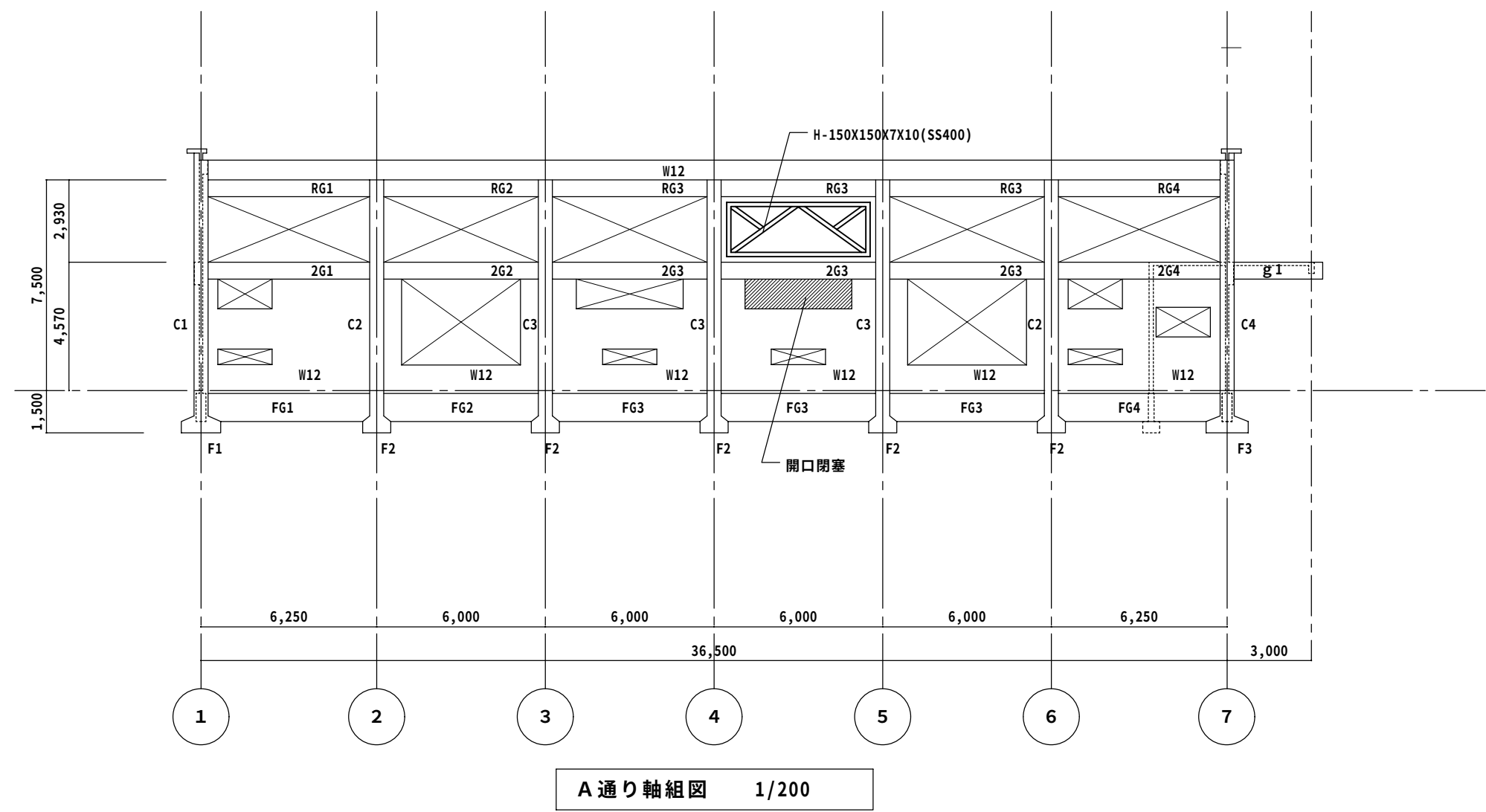
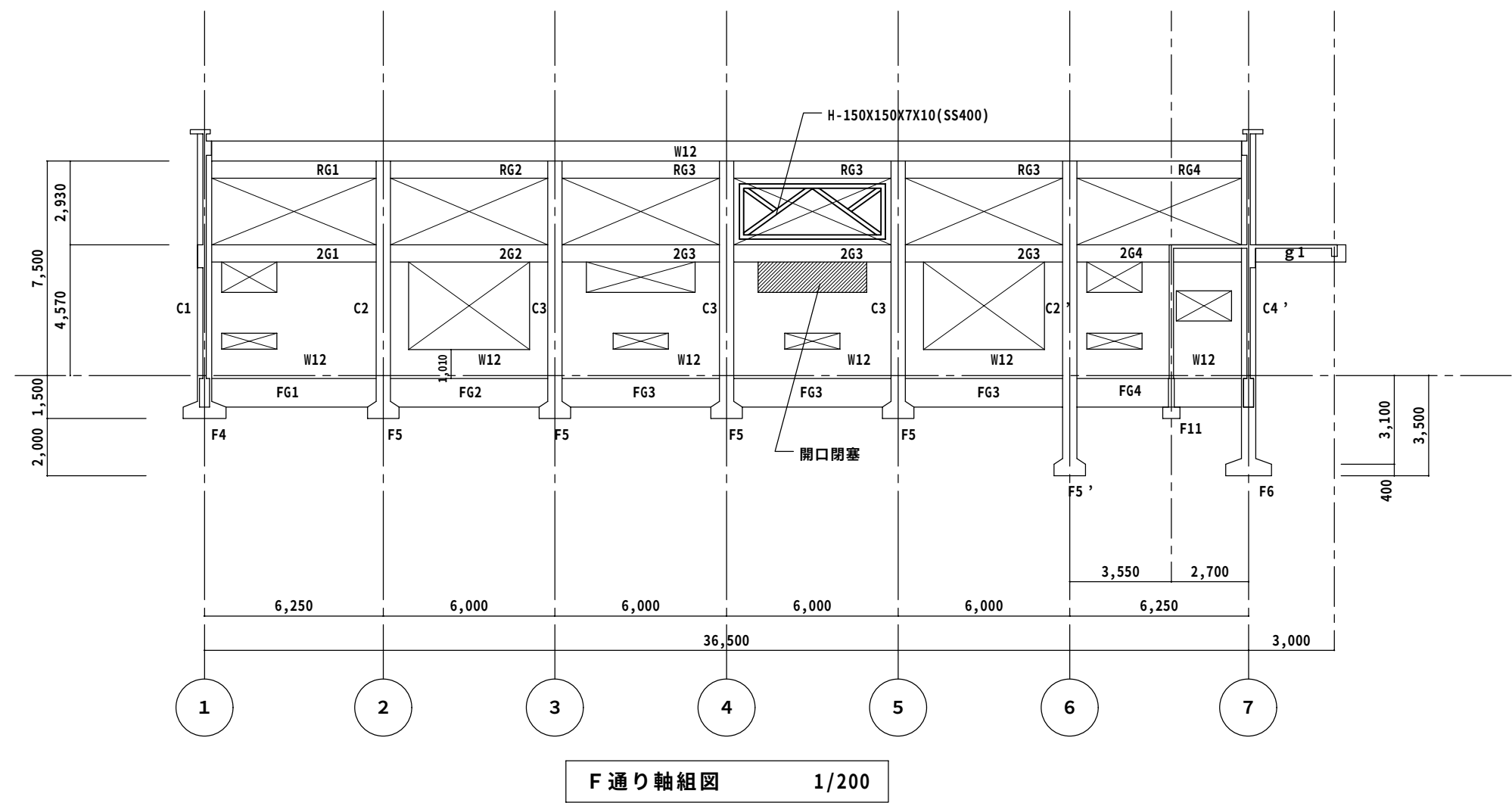
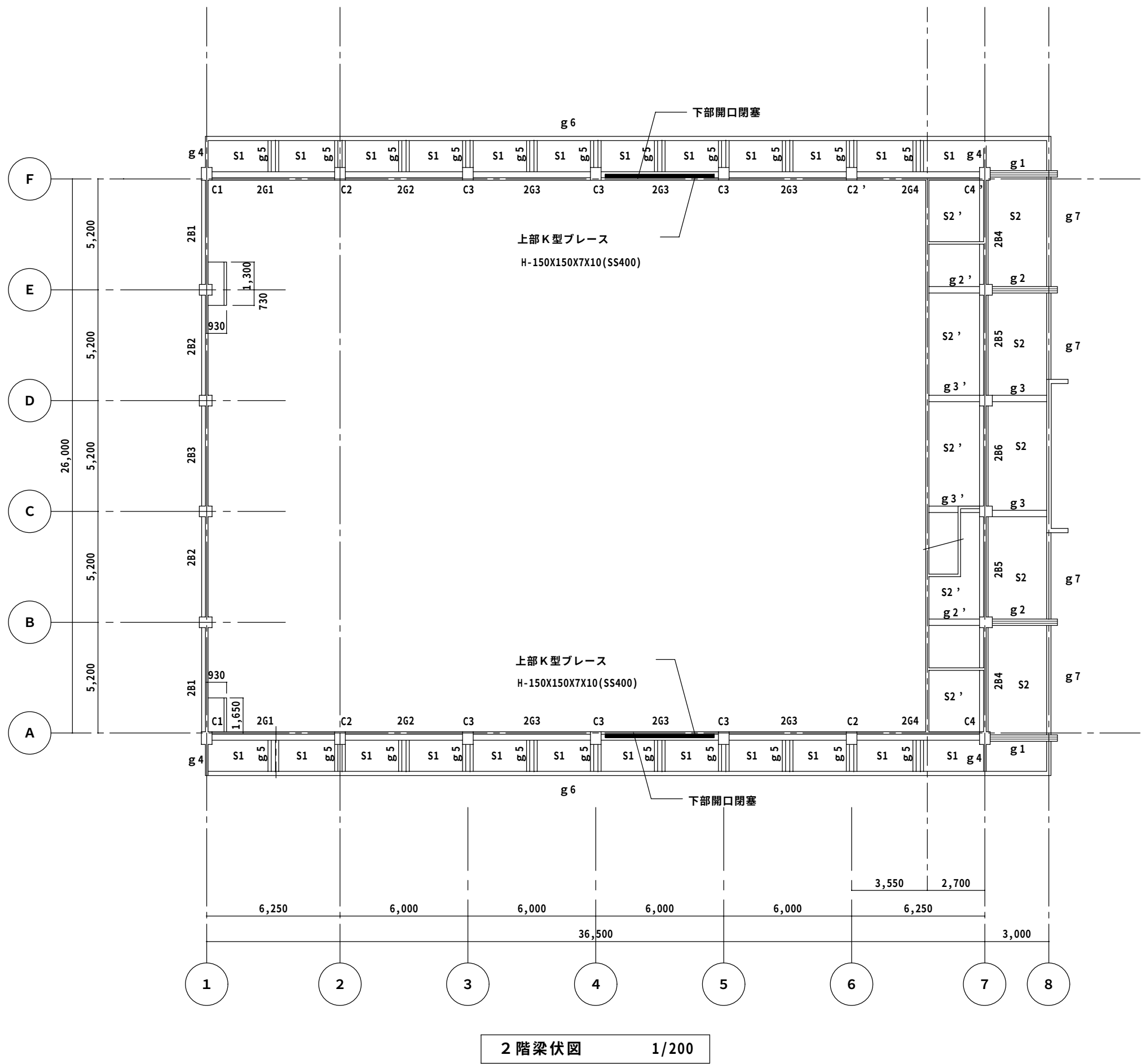
註) コンクリート打設前の型枠は,現場係員と協議の上,慎重に行うこと

鉄骨ブレース工事施工フローチャート



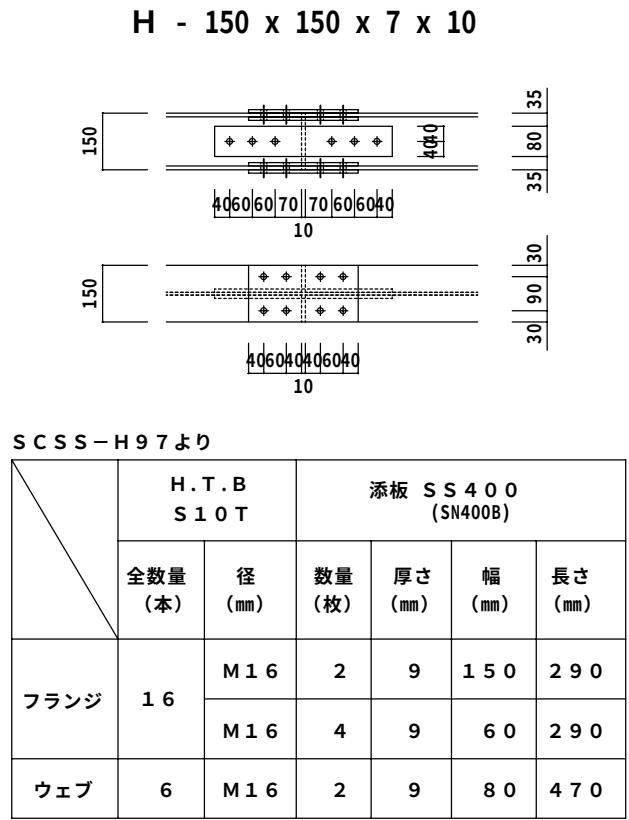
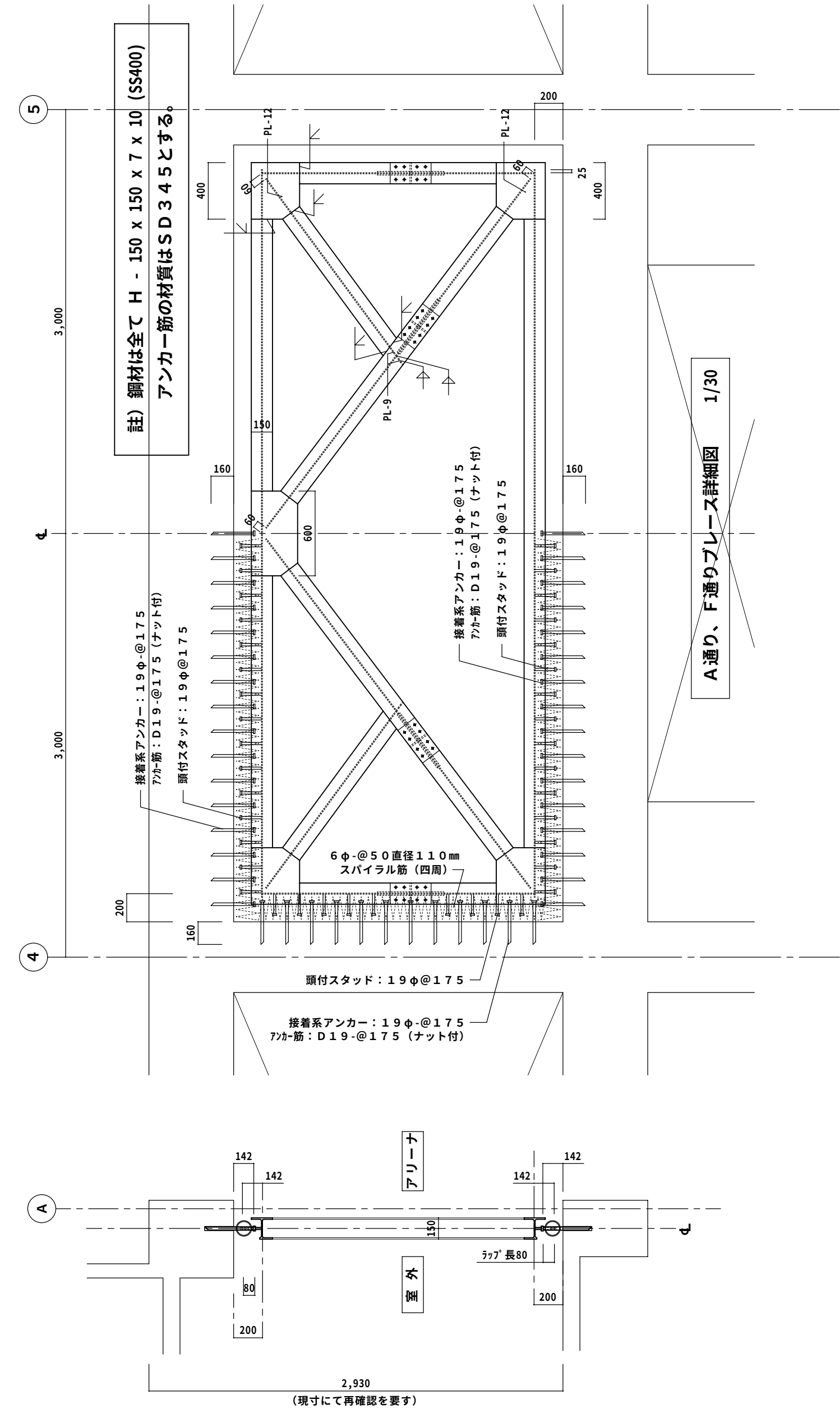
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速水可次 1級建築士登録 第102935号
名称	特記事項					
図番	S-19	S=1:100	年月			

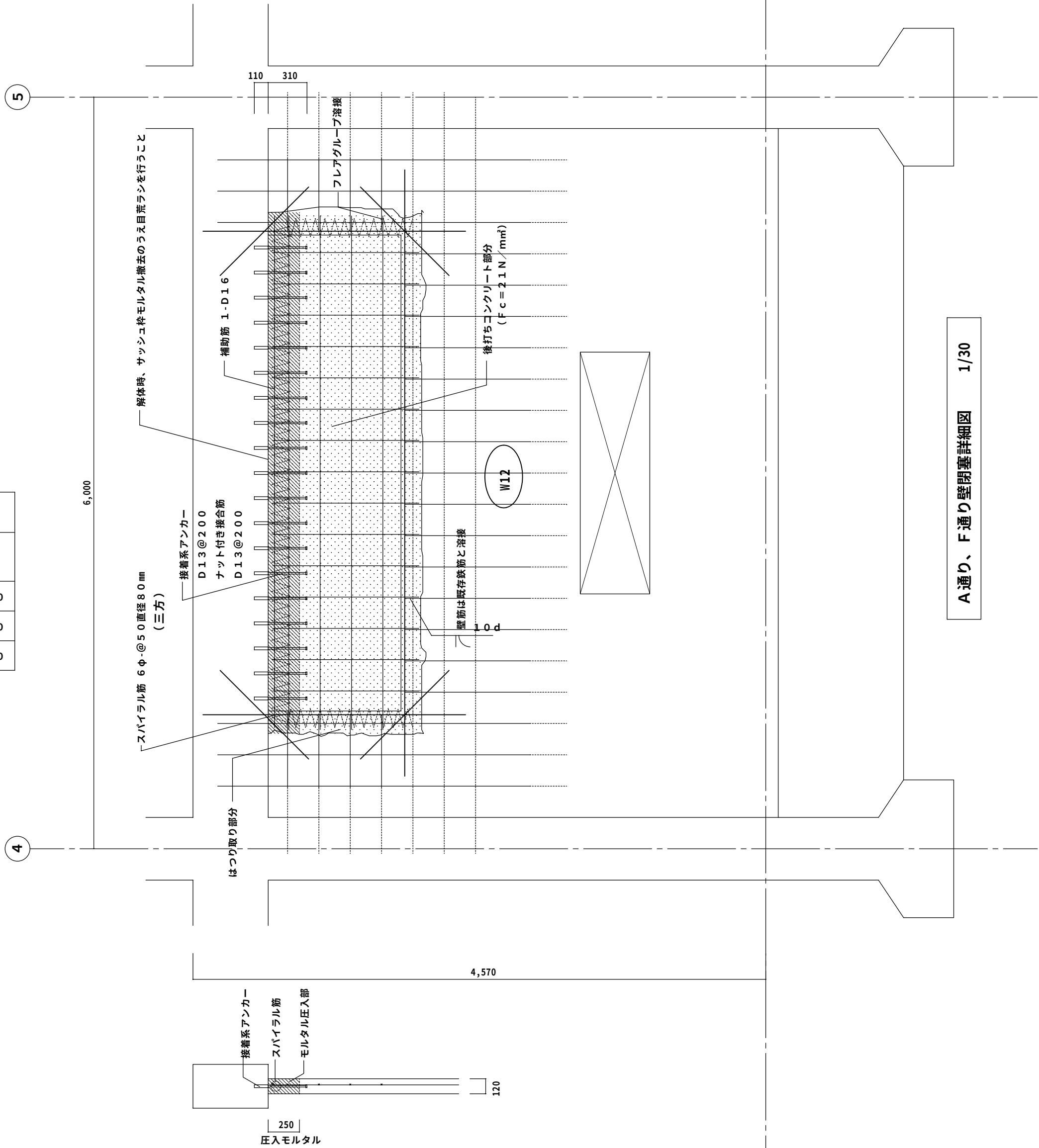


特記：

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	桁行き方向補強位置図						
図 番	S — 20	S = 1 : 100	年 月				



A通り、F通りブレース詳細図 1/30



A通り、F通り壁閉塞詳細図 1/30

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	ブレース詳細図	壁閉塞詳細図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	S - 21	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	